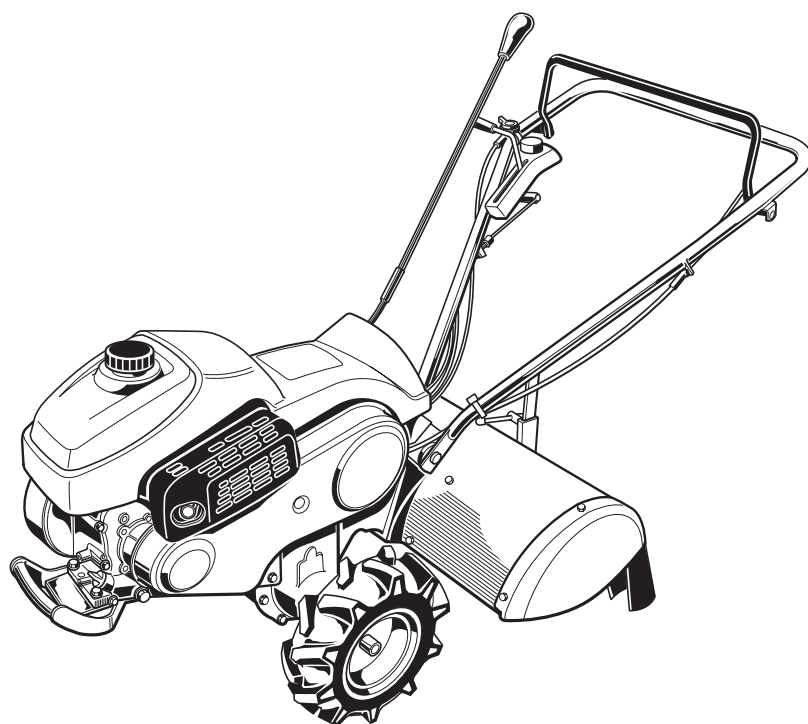


クボタロータリ専用機

取扱説明書

TR 500
600(-U)
700



1AFACAAAP0010

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

OPERATOR'S MANUAL

操作装置のシンボルマーク

運転操作及び保守管理のために、操作装置のシンボルマークが使用されています。シンボルマークの意味は下記のとおりですのでよく理解して戴き誤操作のないようご注意ください。



エンジン停止



チョークレバー



ガソリン燃料

専門用語の説明



燃料コック [開]



燃料コック [閉]

はじめに

このたびはクボタ製品をお買上げいただきありがとうございました。

この取扱説明書は本製品の正しい取扱い方法、簡単な点検及び手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいてじゅうぶん理解され、お買上げの製品がすぐれた性能を発揮し、かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。また、お読みになったあとも製品に近接して保存し、わからないことがあったときには取出してお読みください。なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行なうことがあります。その際には、お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

⚠ 安全 第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた ⚠ の表示があるラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

なお、⚠ 表示ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について、次のように表示しています。



危険

注意事項を守らないと、死亡又は重傷を負うことになるものを示します。



警告

注意事項を守らないと、死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。



注意

注意事項を守らないと、ケガを負うおそれのあるものを示します。

重要

注意事項を守らないと、機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。

補足

その他、使用上役立つ補足説明を示します。

目 次

▲安全に作業するために

運転する前に.....	1
始動するとき.....	2
移動、作業するとき.....	3
作業が終わったとき.....	6
点検、整備をするとき.....	7
表示ラベルと貼付け位置.....	10
表示ラベルの手入れ.....	12

サービスと保証について

ロータリ専用機について

各部の名称と装置の取扱い

機体方向説明と装置の名称.....	3
各部の名称とはたらき.....	4
主クラッチレバー.....	4
デフロックレバー.....	4
変速レバー.....	5
エンジンスイッチ.....	5
リコイルスタータ.....	6
燃料コックレバー.....	6
チョークレバー.....	6
スロットルレバー.....	6
燃料キャップ.....	7
マフラ.....	7

作業前の点検

調子よく作業するために.....	8
安全に作業するために.....	10

運転のしかた

新車時の扱い.....	11
ならし運転（最初の 10 時間まで）.....	11
エンジンの始動と停止のしかた.....	11
始動のしかた.....	11
停止のしかた.....	12
発進のしかた.....	13
各部の調節.....	14
エアクリーナの調節.....	14
ハンドル高さの調節.....	14
耕深調節のしかた.....	14
移動輪の使いかた.....	15
培土機の取付けかた.....	16
正転作業（耕うん）.....	16
逆転作業（うね立て）.....	17
車輪幅の調節のしかた.....	17

ロータリ専用機の簡単な手入れと処置

廃棄物の処理について.....	18
日常の手入れ.....	18
エンジンオイルの交換.....	18
ミッションオイルの交換.....	18
エアクリーナエレメントの清掃.....	19
燃料パイプの交換.....	20
燃料フィルタの清掃.....	20
点火プラグの調節・清掃・交換.....	21
主クラッチケーブルの調節.....	21
デフロックケーブルの調節.....	22
耕うん爪の取付けかた.....	23
タイヤの空気圧.....	25
使用後の手入れ.....	25
エンジン始動不良を防ぐために.....	25
長期格納時の手入れ.....	25
燃料の抜取り.....	26

ロータリ専用機を運搬するとき

自動車（トラック）への積込み、運搬 ..	27
----------------------	----

付表

主要諸元.....	28
標準付属部品.....	29
主な消耗部品一覧表.....	30

トラブルと処置

本機をご使用になる前に、必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で、安全な作業をしてください。安全に作業をしていただくため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも、本文の中で ▲ 危険 ・ ▲ 警告 ・ ▲ 注意 ・ 重要 ・ 補足 としてそのつど取上げています。

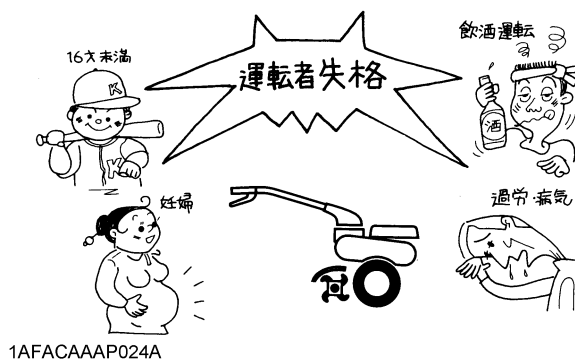
運転する前に

■ 使用する人は

機械の運転操作、特に主クラッチ【切】はすばやくできるよう、よく練習し、十分に慣れてから作業してください。

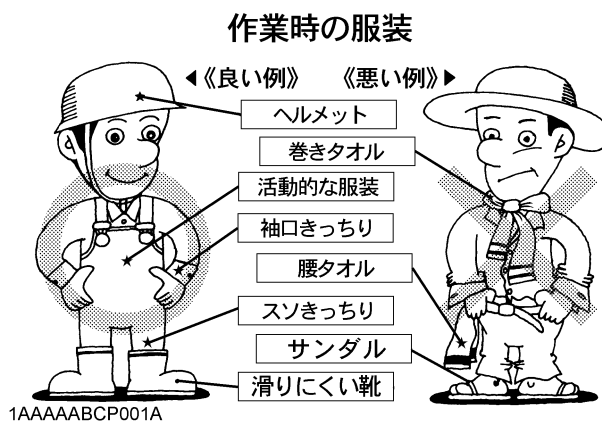
次の項目に該当する場合は、機械を使用しないでください。

- 本書及びラベルの内容が理解できない人
- 視力不足等のため表示内容が読めない人
- 飲酒時や体調が悪いとき、また妊娠中の人
- 16才未満の人
- ハンドルを操縦する体力に自信のない方



■ 使用する人の服装は

- 回転部分や操縦装置にひっかかり事故の原因になる、だぶついた服、腰タオルなどはやめてください。
- ヘルメット、安全靴、保護メガネや手袋などを必要により着用してください。



■ 周囲への注意

- 子供、ペットを近づけないでください。
- 見物人を近くに寄せないでください。
- 共同作業者がいるときは、互いに注意してください。

■ 他人に貸すときは

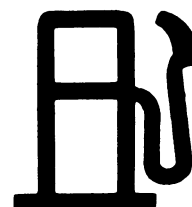
- 事前に運転のしかたを教え、**【取扱説明書】**を必ず読んでもらってください。



1AHACACAP001A

■ 給油・注油するとき【火気厳禁】

- 燃料の給油・各部への注油時は必ずエンジンを停止し、規定量以上入れないでください。
- エンジン回転中やエンジンが熱い間は火災のおそれがあるので給油はしないでください。
- 煙草を吸ったり火気を近づけないでください。
- 給油口の赤色ゲージ以上に燃料を入れないでください。
- 燃料補給後、給油キャップはもれないようにしっかり締めてください。
- こぼれた燃料はふき取ってください。

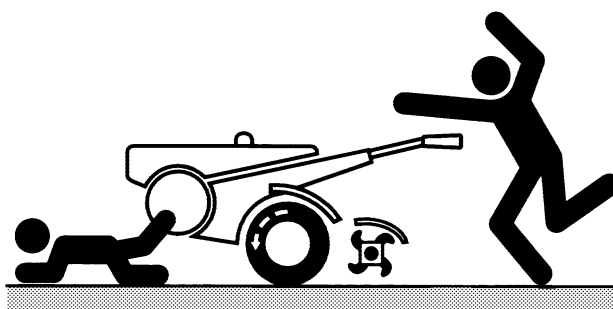


1AFACAAAP025A

始動するとき

■ エンジンを回すとき

- 必ず本機、ロータリ（作業機）の主クラッチレバーを**【切】**り、変速レバーは**【中立】**にして、付近に人（特に子供）を近づけないでください。
- もし主クラッチや変速が入っていると車体や爪軸が急に動いて事故になるおそれがあります。



1AFACAAAP026A

■ 排気ガスに注意

排気ガスによる一酸化炭素中毒のおそれがあるので、換気の悪い所（ハウス、車庫等）では使用しないでください。

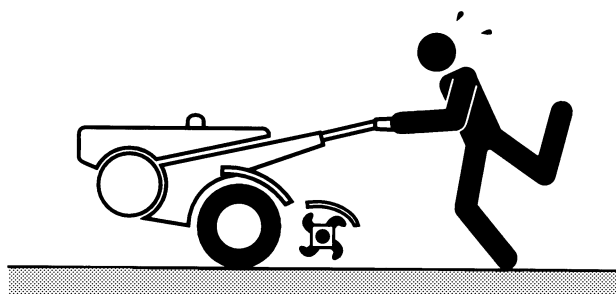


1AFACAAAP027A

移動、作業するとき

■ 発進するとき

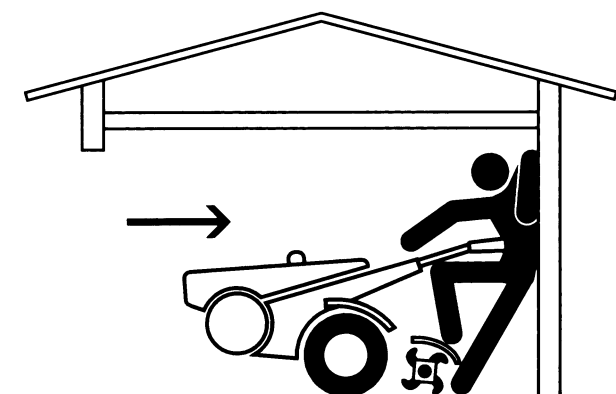
- 速い速度での走行は十分注意してください。
- 車速の最低速で主クラッチレバーの【入】はゆっくり，【切】はすばやくの操作を習熟した上で使用してください。
- 小走りになるようなスピードを出したり，急発進，急旋回はしないでください。転倒などのおそれがあります。



1AFACAAAP028A

■ ハウス、車庫等での移動

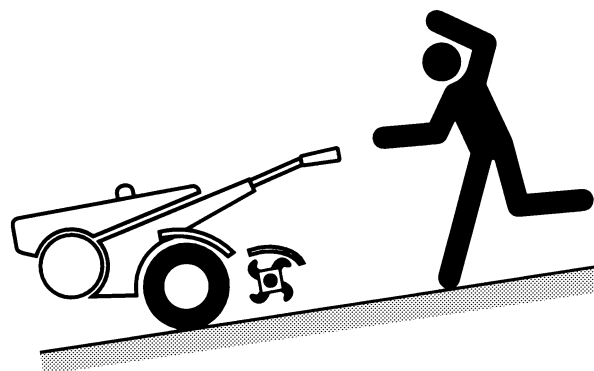
- 後方の壁、支柱、天井など障害物にはさまれるおそれがあるのでエンジン回転を下げて後進してください。
- 屋根の低いハウス内や車の荷台では，エンジンを停止して手で引き出してください。



1AFACAAAP030A

■ 坂道を移動するとき

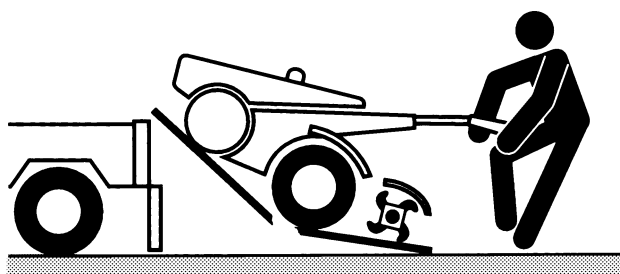
- 坂道、ほ場の出入り、畦の乗越え等の途中で主クラッチを【切】ったり、変速を【中立】にすると、機体が思わぬ方向に進み危険です。
- 変速操作は、機械が平坦な場所以外では行なわないでください。落下や転倒のおそれがあります。
- 坂道や凹凸、カーブの多い路上で高速運転すると、転倒したりして危険ですから必ず低速運転してください。



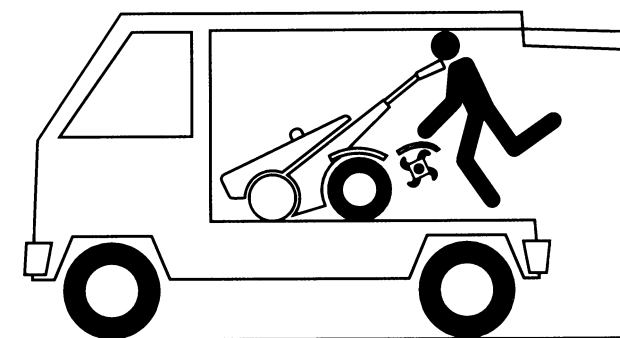
1AFACAAAP031A

■ 運搬・積降ろしするとき

- 積込み・積降ろしは、平坦で交通の邪魔にならない安全な場所で行なってください。
- デフロックレバーは【直進】の位置にしてください。【旋回】の位置にすると思わぬ方向に進むことがあり危険です。
- アユミ板はすべり止めのついた、機体重量に耐えるもので、トラックの荷台の高さ【1】に対しアユミ板の長さ【4以上】のものを使用し、確実に固定してください。
- 足元に注意し、車速は最低速で、上りは【前進】下りは【後進】で行ない、途中で主クラッチを切ったり、変速操作をしないでください。落下・転倒のおそれがあります。
- 車などで運搬するときは、必ず荷台に天井がない車を使用してください。
- 燃料コックレバーを必ず【閉】にし、給油キャップはもれないようしっかり締めてください。燃料もれが発生し、火災や爆発のおそれがあります。
- 機体の固定は前部プロテクター、抵抗棒、ハンドルの3箇所を使ってロープ掛けを行ない、確実に床に固定してください。



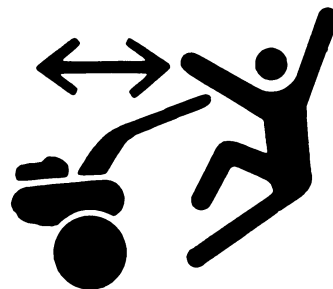
1AFACAAAP032A



1AFACAAAP033A

■ 耕うん作業するとき

- 爪軸（ロータリ）作業開始時や作業中、機体が思わぬ方向に飛出し転倒や人身事故のおそれがありますので、いつでも主クラッチが**【切】**れる姿勢で運転してください。
- 作業前に、ほ場の状態をよく確認して、石・材木・針金・空カン・空ビン等を取除いてください。
- エンジン本体、マフラ周辺、配線部にワラくずがたまっていると危険です。作業前・作業後に点検し、きれいに取除いてください。
- 周辺の枯れ草やたい積ワラ等に機械のマフラが接触すると危険です。作業前に取除くか、移動させてください。
- ほ場の中や周囲にある支柱、樹木や段差などは、作業前に位置を確認し、後進時にはさまれたり、転倒・転落しないよう安全な距離を保って、近づかないよう作業してください。
- 長いワラ・草など作業に支障のあるものは、作業前に取除いてください。機体が思わぬ方向に飛出し、転倒などのおそれがあります。



1AFACAAAP029A

■ 回転している爪に注意

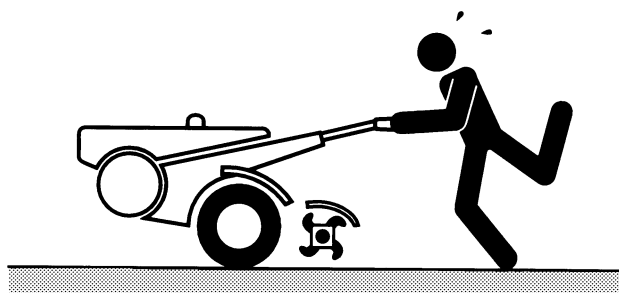
- ハンドル部を持上げ旋回するとき、足元及び周囲に十分注意しないと回転する爪に巻込まれるおそれがあります。



1AFACAAAP034A

■ ほ場が硬いとき

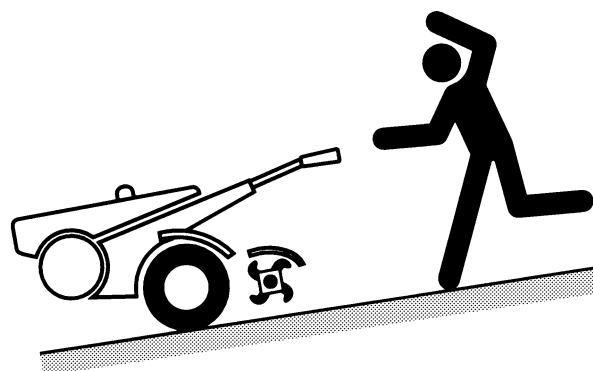
- 硬いほ場では車速を遅めにして、耕深も浅めで作業を行なってください。機体が飛出すおそれがあります。



1AFACAAAP028A

■ 機械から離れるとき

- エンジンは必ず停止させ、平坦で安定した場所に停車してください。移動・落下するおそれがあります。
(やむなく傾斜地に止めるときは車止めをしてください。)
- 周囲に草・ワラなど燃えやすいものがある場所に止めないでください。火災のおそれがあります。

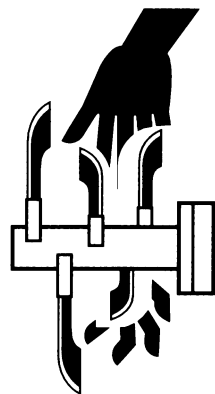


1AFACAAAP031A

作業が終わったとき

■ 掃除をするとき

- 車軸（ロータ）・爪軸（ロータリ）等に巻付いた草・ワラ・泥土等を取除くときは、巻込まれるおそれがあるので、必ずエンジンを停止してください。



1AFACAAAP036A

点検，整備をするとき

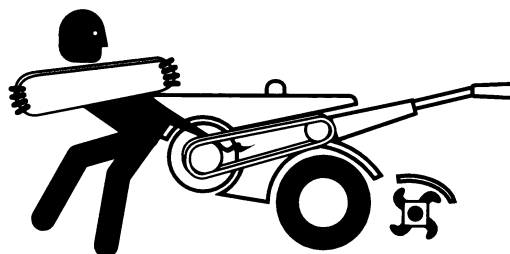
- 点検，整備，アタッチメントの脱着などは，機械が転倒しない平坦な所に機械を安定させて，エンジンを止め，高温部が冷めてから行なってください。



1AFACAAAP039A

■ カバー類は必ずつける

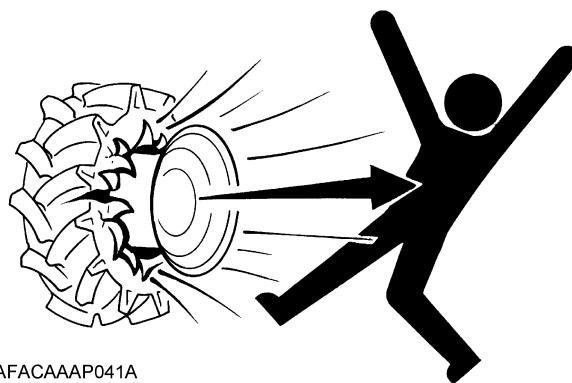
- ベルトカバー，PTO 軸カバーなどの防護カバーを取外すときは，巻込まれるおそれがあるので，必ずエンジンを停止してください。
- 取外したカバー類は元通り組付けてください。



1AFACAAAP037A

■ タイヤの整備

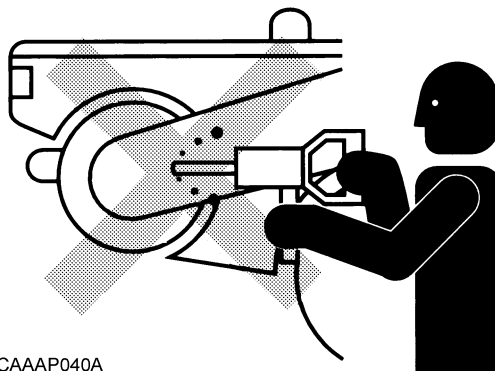
- タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を，必ず守ってください。空気の入れ過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり，死傷事故を引き起こす原因になります。
- タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。
- タイヤ，チューブ，リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。
（特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）



1AFACAAAP041A

■ 機械の改造禁止

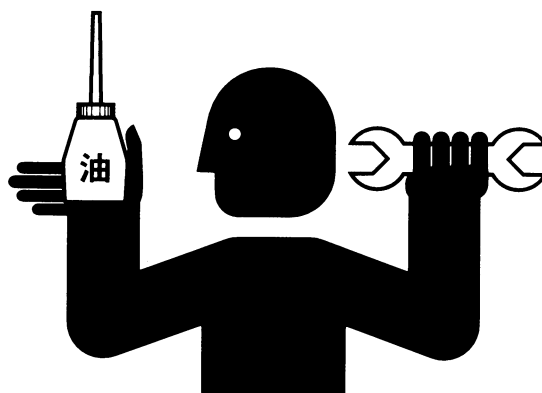
- 機械を改造しないでください。改造すると機能に影響を及ぼすばかりか人身事故にもつながるおそれがあります。



1AFACAAAP040A

■ 1年毎の定期点検を

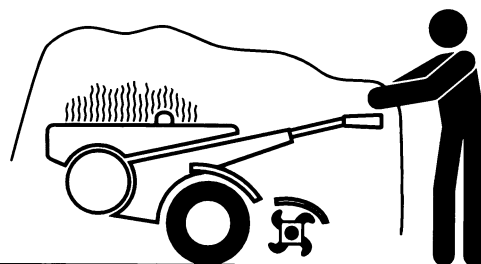
- 機械の整備不良による傷害事故などを未然に防止するため、1年毎に定期点検・整備を受け、特に燃料パイプは2年毎に交換して安全に作業できるようにしてください。



1AFACAAAP038A

■ 格納するとき

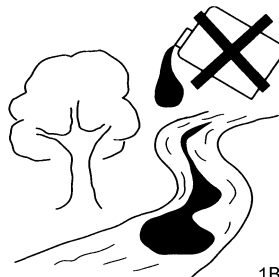
- 機体に保管用カバーをかけるときは、火災予防のため高温部が冷めてから行なってください。
- 火災防止のため、草・ワラ等可燃物のあるところでの保管はしないでください。



1AFACAAAP042A

■ 廃棄物の処理について

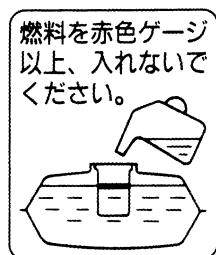
- 廃棄物をみだりに捨てたり、焼却すると、環境汚染につながり、法令により処罰されることがあります。
- 機械から廃液を抜く場合は、容器に受けてください。
- 地面へのたれ流しや河川、湖沼、海洋への投棄はしないでください。
- 廃油、ゴム類、その他の有害物を廃棄、又は焼却するときは、購入先、又は産業廃棄物処理業者等に相談して、所定の規則に従って処理してください。



1BJABAAAP0180

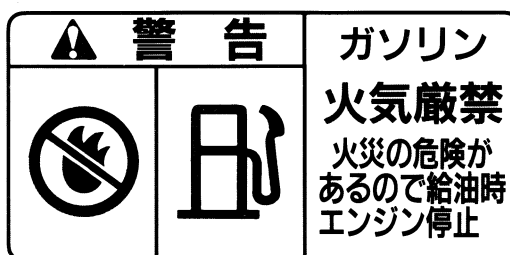
表示ラベルと貼付け位置

① 品番 KK221-4749-1



1AFACAAAP053A

② 品番 60932-4821-1



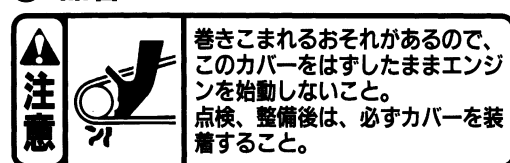
1AFACAAAP054A

③ 品番 60932-4825-1



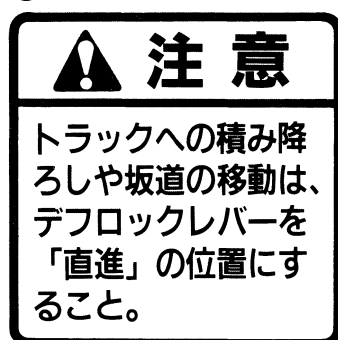
1AFACAAAP043A

④ 品番 62451-2811-1

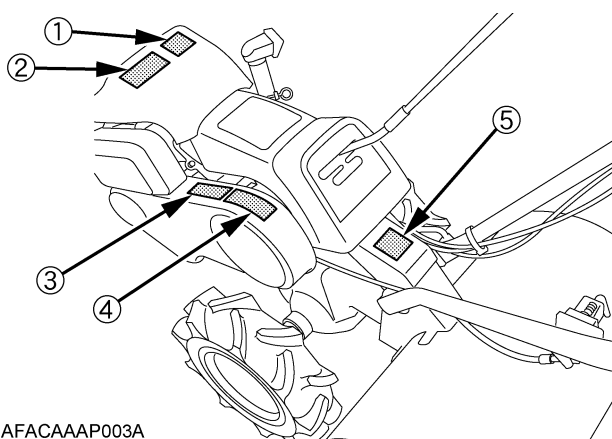


1AFACAAAP044A

⑤品番 60751-4218-1

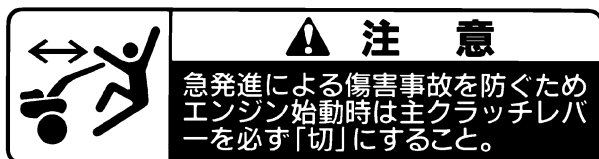


1AFACAAAP055A



1AFACAAAP003A

① 品番 60932-4823-1



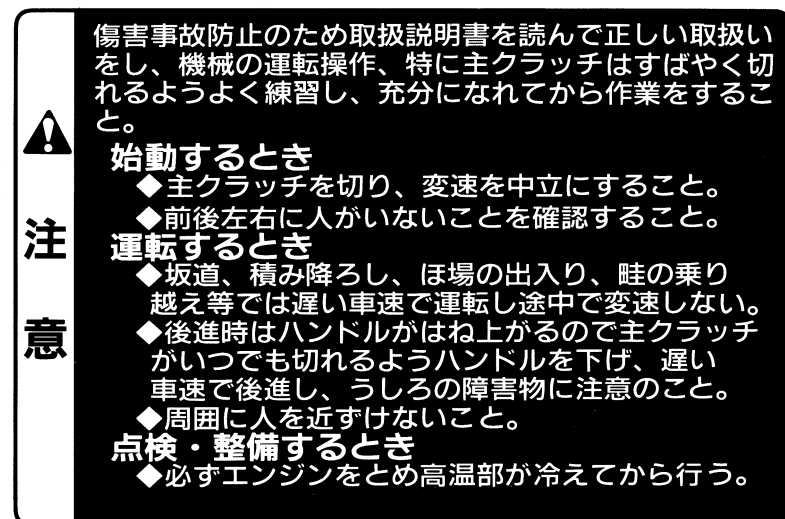
1AFACAAAP046A

② 品番 60711-2912-1



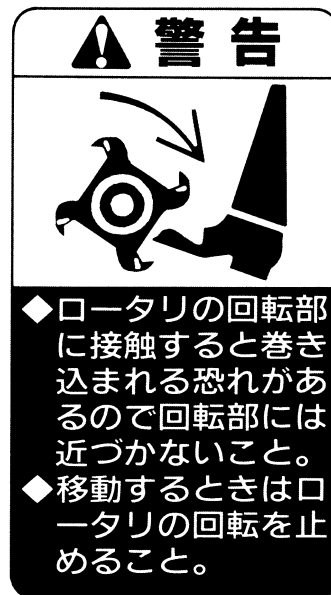
1AFACAAAP057A

③ 品番 60932-4822-2

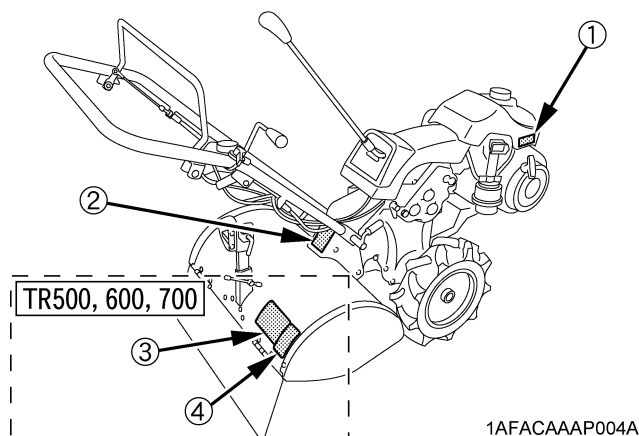


1AFACAAAP056A

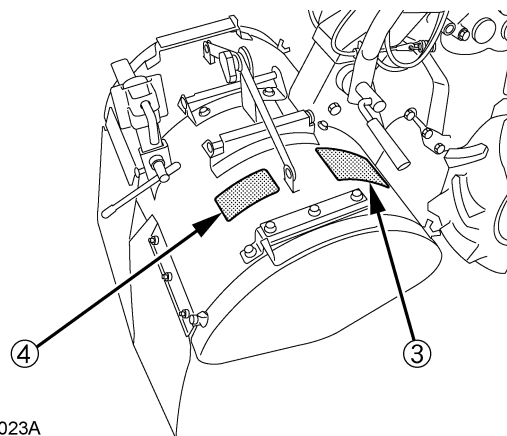
④ 品番 64071-4881-1



1AFACAAAP048A



TR600-U



表示ラベルの手入れ

- ラベルは、いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
もしラベルが汚れている場合は、石鹼水で洗い、やわらかい布で拭いてください。
- 高圧洗浄機で洗車すると、高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。高圧水を直接ラベルにかけないでください。
- 破損や紛失したラベルは、製品購入先に注文し、新しいラベルに貼替えてください。
- 新しいラベルを貼る場合は、貼付け面の汚れを完全に拭取り、乾いた後、元の位置に貼ってください。
- ラベルが貼付けされている部品を新部品と交換するときは、ラベルも同時に交換してください。

サービスと保証について

この製品には、保証書が添付してありますので、ご使用前によくご覧ください。

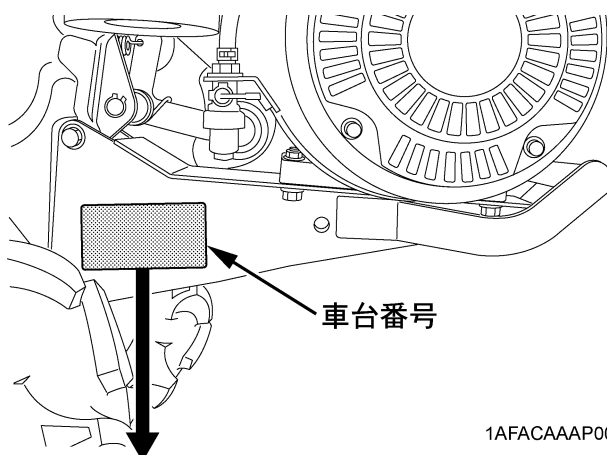
■ ご相談窓口

ご使用中の故障やご不審な点及びサービスについてのご用命は、お買い上げいただいた購入先にそれぞれ【ご相談窓口】を設けておりますのでお気軽にご相談ください。

その際 (1) 農機型式名・販売型式名と車台番号
(2) 機関型式とエンジン番号

をあわせてご連絡ください。

なお、部品ご注文の際は、購入先に純正部品表を準備しておりますので、そちらでご相談ください。



農業機械の種類	農用トラクタ(歩行型)
型 式 名	クボタ
販 売 型 式 名	
区 分	
車 両 型 式 名	
車台(製造)番号	
製 造 会 社	株式会社クボタ



警告

* 機械の改造は危険ですので、改造しないでください。

改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意ください。

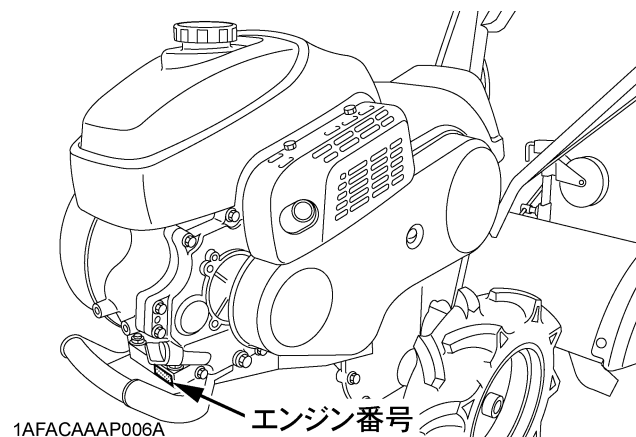
重 要

* エンジンで封印されているところは、さわらないでください。(封印が外されたと認められる場合は、保証の対象外になるのでご注意ください。)

◆ 認定番号

安全鑑定の農機型式名及び番号が必要な場合は、下記の型式名及び番号をご使用ください。

販売型式名	農機型式名	安全鑑定番号
TR500	クボタ TR600	申請中
TR600		
TR600-U		
TR700	クボタ TR700	申請中



■ 補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期限)は製造打ち切り後9年といたします。

ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

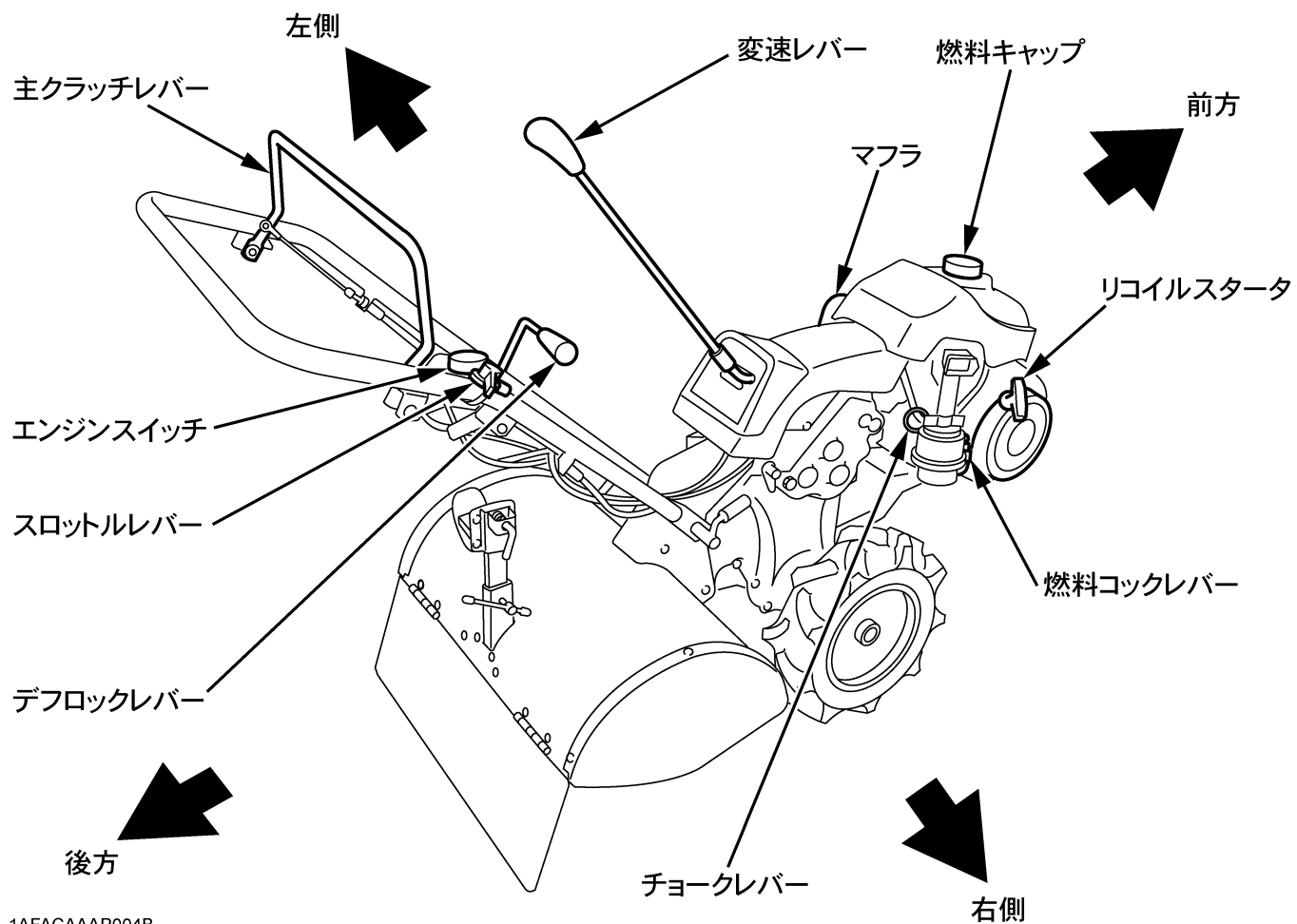
補修用部品の供給は原則的に上記の供給年限で終了致しますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

ロータリ専用機について

このロータリ専用機は、道路運送車両法の小型特殊自動車には該当しません。ロータリ専用機で公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。公道を移動するときは、トラックに積んで運搬してください。

各部の名称と装置の取扱い

機体方向説明と装置の名称



1AFACAAAP004B

各部の名称と装置の取扱い

各部の名称とはたらき

■主クラッチレバー

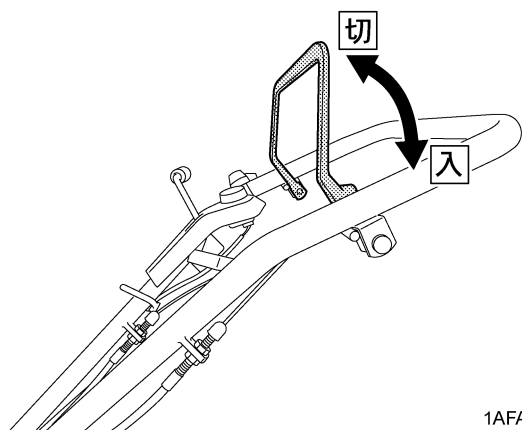


注 意

- * 傾斜地や後進するときなどは、ハンドルが持ち上がり危険な場合がありますので、主クラッチレバーをゆっくり操作して下さい。
- * 狭い場所や後進の運転についてはエンジンの回転を低速にし、後方や上方などまわりの安全を確かめ、ゆっくりと主クラッチレバー操作してください。
- * 危険を感じたら、早めに手を離してください。

エンジンからの動力を断続します。

1. レバーを握るとクラッチが【入】ります。
2. レバーを離すとクラッチが【切】れます。



1AFACAAAP007A

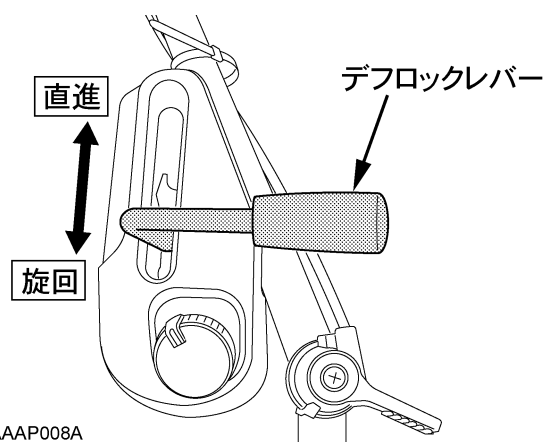
■デフロックレバー



注 意

- * 【旋回】の位置でトラックへの積降ろしや坂道移動をすると、思わぬ方向にハンドルを取られる場合があります危険です。発進する前に必ずレバーを【直進】の位置にしてください。

1. 【直進】は、左右の車輪が同回転します。
2. 【旋回】は、左右の車輪が差動回転します。



1AFACAAAP008A

各部の名称と装置の取扱い

■変速レバー



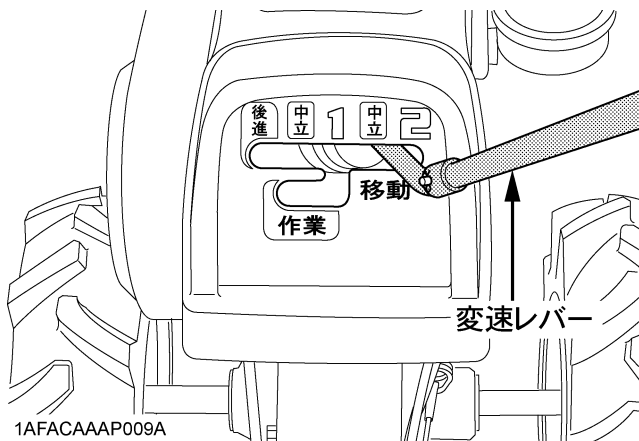
注 意

- * エンジンを始動する前に、必ずレバーを【中立】にしてください。
- * 変速操作は主クラッチを【切】ってから行なってください。
- * 走行中は変速しないでください。

変速は案内板の表示位置に合わせてシフトします。

[TR500]

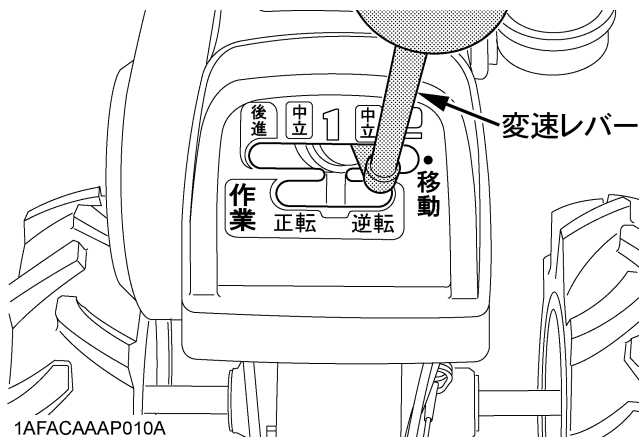
1. 変速は前進 2 段、後進 1 段です。
2. ロータリは前進 1 速で【正転】です。



[TR500]

[TR600, TR600-U]

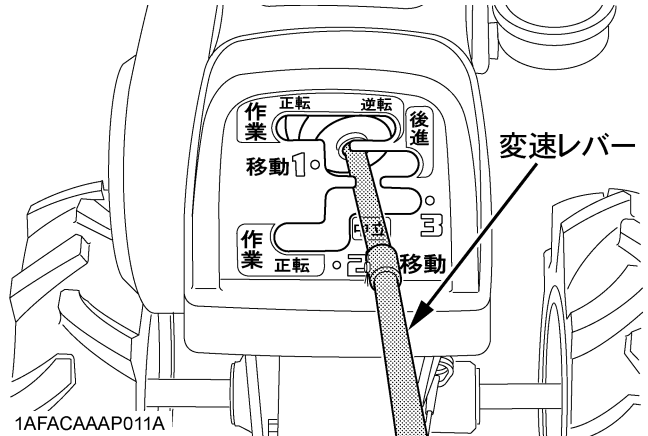
1. 変速は前進 2 段、後進 1 段です。
2. ロータリは前進 1 速で【正転】・【逆転】です。



[TR600, TR600-U]

[TR700]

3. 変速は前進 3 段、後進 1 段です。
4. ロータリは前進 1 速で、【正転】・【逆転】、前進 2 速で【正転】です。

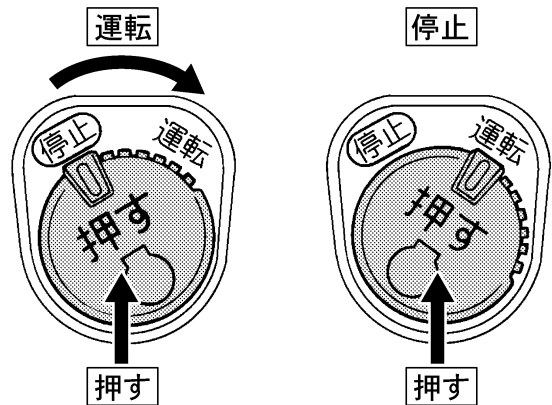


[TR700]

■エンジンスイッチ

エンジンの始動・停止に用います。

1. スイッチを押しながら【運転】位置にまわすと始動が可能です。
2. スイッチを押すと左にまわって【停止】位置に戻り、エンジンが停止します。



各部の名称と装置の取扱い

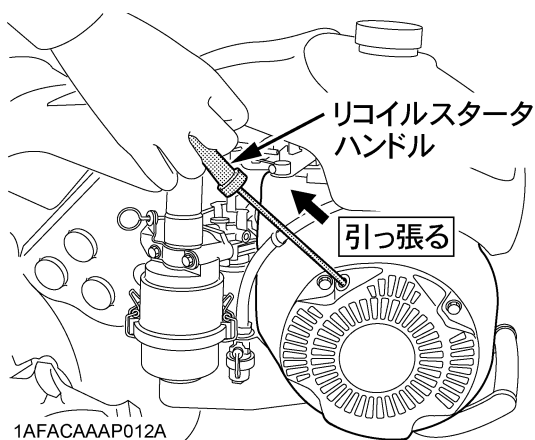
■リコイルスタータ



注 意

- * リコイルスタータを引っ張る方向に人がいないか、突起物・障害物がないか確かめてから始動してください。傷害事故のおそれがあります。

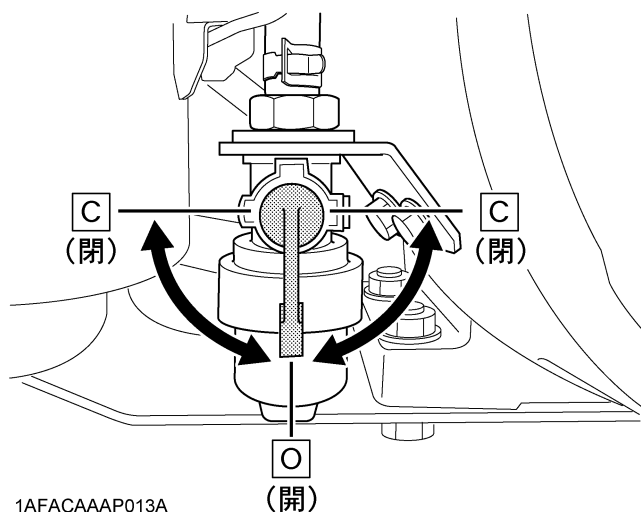
エンジンの始動をします。
リコイルを引っ張ると始動します。



■燃料コックレバー

燃料タンクからエンジンへ燃料の【供給】・【停止】をします。エンジン停止後、必ず燃料コックを閉めます。

1. **【C】（閉）** 燃料停止
2. **【O】（開）** 燃料供給



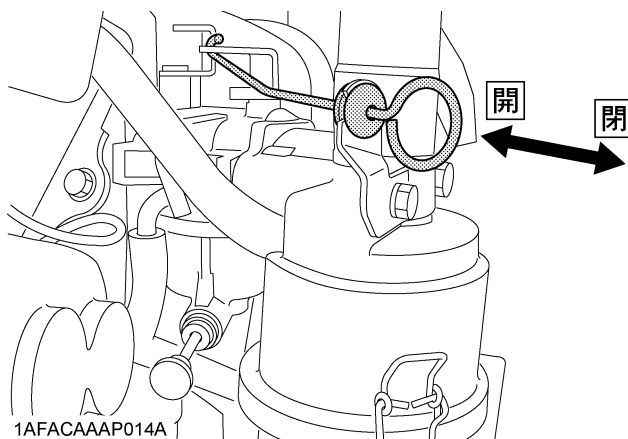
重 要

- * コックを開いた状態で、前に倒したり車両で運搬すると、エンジン始動が困難になる場合があります。

■チョークレバー

エンジンがかかりにくい時に使用します。

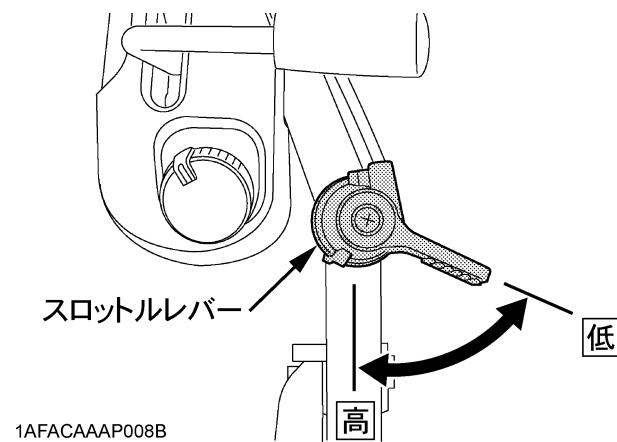
1. **始動時** レバーを引く（チョーク **【閉】**）
2. **始動後** レバーを押す（チョーク **【開】**）



■スロットルレバー

エンジン回転の調節をします。

1. **【高】** の方向に回すと回転が上がります。
2. **【低】** の方向に回すと回転下がります。



■燃料キャップ



警告

- * 給油時はエンジンを停止し冷却を確認してください。
- * 火気厳禁。くわえ煙草での給油は絶対にしないでください。
- * 燃料がこぼれたときはきれいにふき取ってください。
- * 燃料は規定量（赤色ゲージ）以上入れないでください。
- * 給油後、燃料キャップはガソリンがもれないようしっかり締めてください。
- * 上記の作業をおこたると、爆発・火災のおそれがあります。

自動車用レギュラーガソリンを使用します。

燃料の種類	規定容量
自動車用レギュラーガソリン	2.0L

重要

- * 燃料タンク内にゴミや水及びその他異物が混入しないように、注意してください。

■マフラ



注意

- * マフラに手でふれないでください。
ヤケドをするおそれがあります。

作業前の点検



注 意

- * 平坦な場所に機械を安定させて点検してください。
- * 点検中はエンジンを停止してください。

調子よく作業するために

(詳細は 18 ページの「ロータリ専用機の簡単な手入れと処置」を参照)



警 告

- * 給油時はエンジンを停止し冷却を確認してください。
- * 火気厳禁。くわえ煙草での給油は絶対にしないでください。
- * 燃料がこぼれたときはきれいにふき取ってください。
- * 燃料は規定量（赤色ゲージ）以上入れないでください。
- * 給油後、燃料キャップはガソリンがもれないようしっかり締めてください。
- * 上記の作業をおこたると、爆発・火災のおそれがあります。

重 要

- * 水やごみを混入しないようにしてください。

◆ 燃料

- ロータリ爪接地状態で燃料を入れてください。
- 自動車用レギュラーガソリンを補給します。
- タンク容量……約 2.0 L

◆ エンジンオイル

- エンジンを水平にして、レベルゲージで規定量あるか点検します。
- 不足している場合は、クボタ純オイルを補充します。
(ガソリンエンジン用)
(夏……G30 冬……G20)

◆ ミッションオイル

- ロータリ爪接地状態で検油口まであるか点検します。
- 不足している場合は、クボタ純オイルを補充します。
(M80B, M90 又は UDT)

◆ エアクリーナ

- オイルパンの規定線まであるか点検します。
- 不足している場合は、エンジンオイルを補充します。
- オイルパンのオイルが汚れていないか点検します。
- エアクリーナエレメントにゴミが付着していないか点検します。

◆ タイヤ

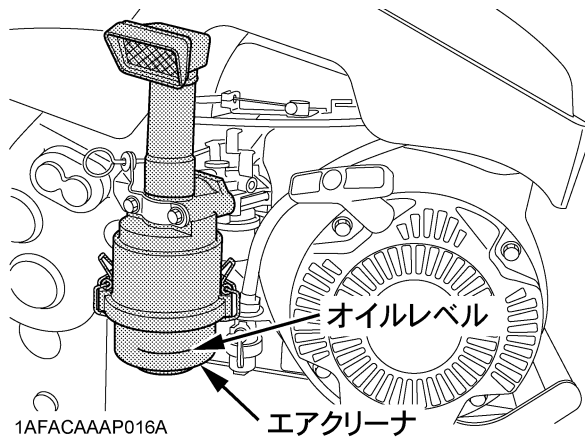
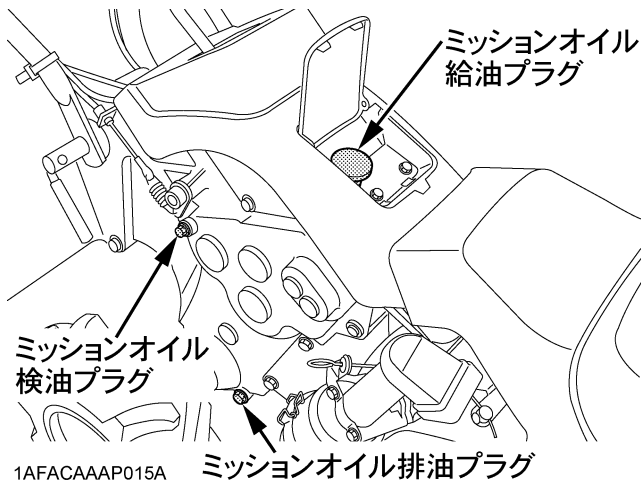
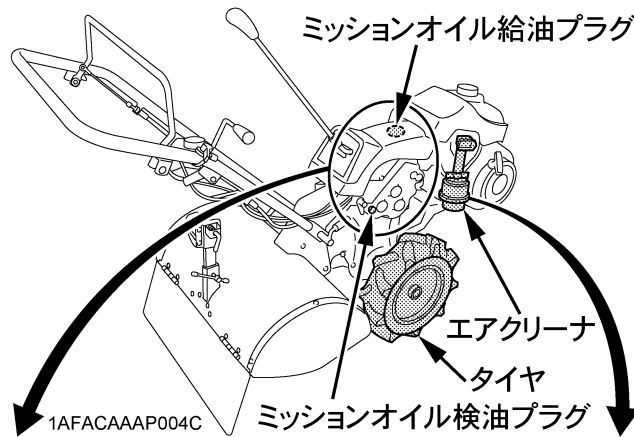
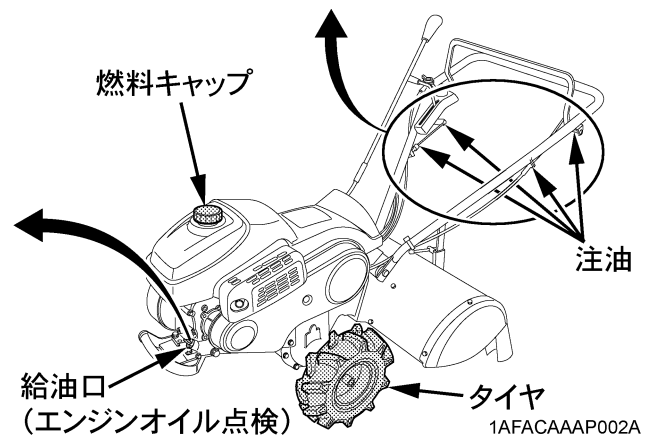
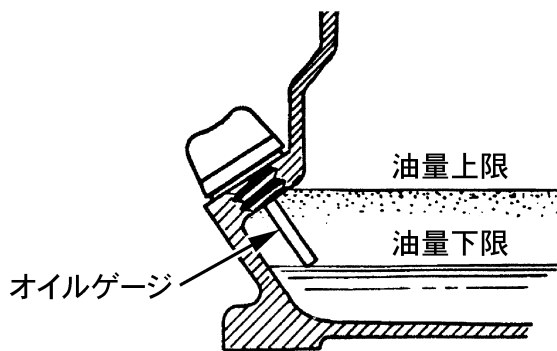
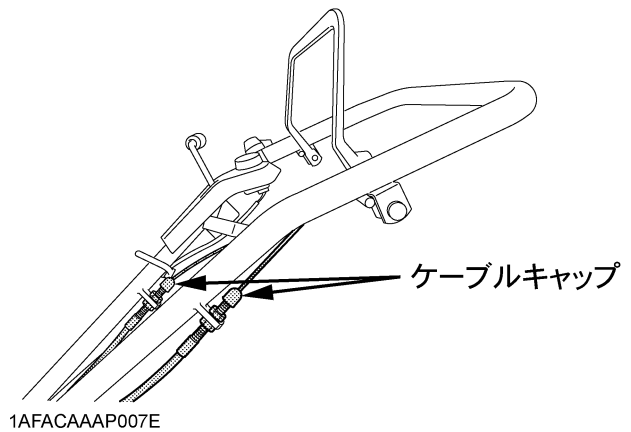
- 空気が抜けていないか、また損傷がないか点検します。

◆ 各ケーブル

- ケーブルのキャップを外し、エンジンオイルを注油します。

◆ その他

- エンジン、ミッションなどから油もれがないか点検します。
- 各しゅう動部へエンジンオイルを注油します。
- 各部の損傷及びボルト・ナットのゆるみがないか点検します。



作業前の点検

安全に作業するために



警告

- * タイヤの空気圧は、取扱説明書に記載している規定圧力を、必ず守ってください。空気の入れ過ぎは、タイヤ破裂のおそれがあり、死傷事故を引き起こす原因になります。
- * タイヤに傷があり、その傷がコード（糸）に達している場合は、使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。
- * タイヤ、チューブ、リムなどの交換、修理は、必ず購入先にご相談ください。（特別教育を受けた人が行なうように、法で決められています。）

◆ 主クラッチレバー デフロックレバー

- クラッチの【入】・【切】が確実に行なえるか点検します。
- デフロックレバーの【直進】・【旋回】が確実に行なえるか点検します。
- 不良の場合は調整・注油します。

◆ 変速レバー

- 変速が案内板の表示位置で確実に行なえるか点検します。

◆ 電気配線

- 被覆が溶けたり被れていないか、また配線がはさまれていないか点検します。

◆ エンジン周辺部

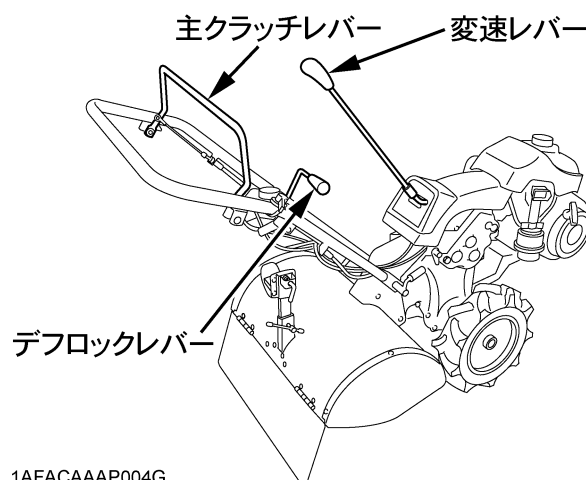
- ファンカバーやマフラカバー内にゴミやワラクズの付着がないか点検します。

◆ ガソリンもれ

- タンクや燃料パイプからガソリンもれがないか点検します。
もれがある場合は、修理点検します。
- 自動車用レギュラーガソリンを補給します。
- タンク容量……規定量（赤ゲージ位置）以上入れないようにします。
- 給油後、ガソリンがもれないよう確実に燃料キャップを締めます。

◆ タイヤ空気圧

- 空気が抜けていないか、又、損傷がないか点検します。
- 適正空気圧……120 ～ 140Kpa (1.2 ～ 1.4kgf/cm²)



1AFACAAAP004G

運転のしかた

新車時の扱いかた

■ならし運転（最初の 10 時間まで）

この期間中は各部になじみをつけるため、エンジンを高速回転させたり、過酷な使用はさけ無理をさせないようにしてください。

エンジンの始動と停止のしかた

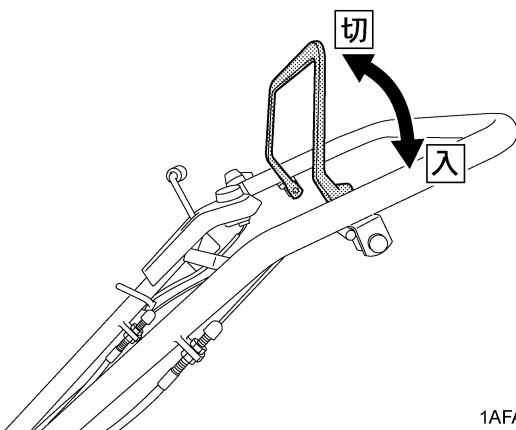
■始動のしかた



注 意

- * マフラの排気出口方向に、燃えやすい物がないか確認してください。火災のおそれがあります。
- * リコイルスタータを引っ張る方向に人がいないか、突起物・障害物がないか確かめてから始動してください。傷害事故のおそれがあります。
- * エンジンの運転中は、危険ですからマフラやそのほか操作レバー以外の物には、触れないでください。ヤケドや傷害のおそれがあります。
- * 夜間作業はしないでください。
- * エンジンを始動するときは、主クラッチレバーを必ず【切】にしてください。

1. 主クラッチレバーを【切】にします。



1AFACAAAP007A

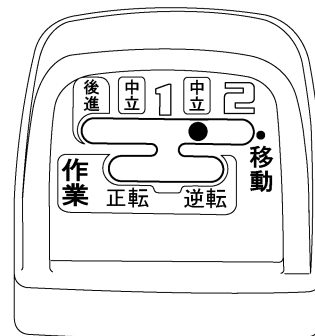
2. 変速レバーを【中立】にします。

TR500



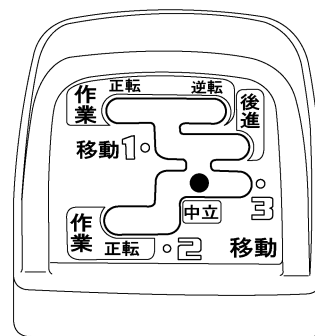
1AFACAAAP009B

TR600, 600-U



1AFACAAAP010D

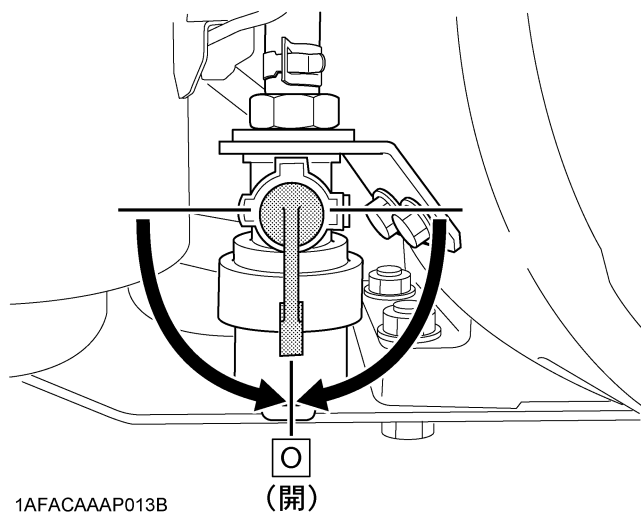
TR700



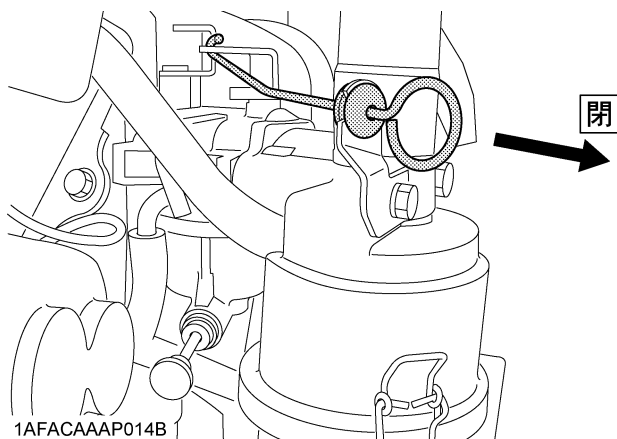
1AFACAAAP011B

運転のしかた

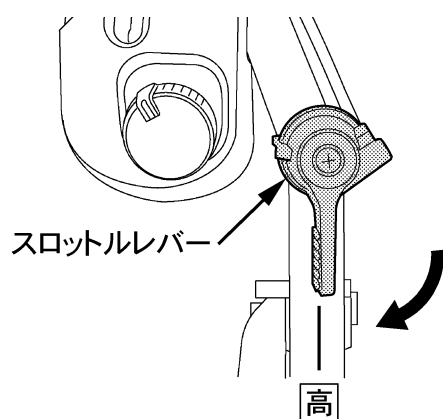
3. 燃料コックを【O】（開）にします。



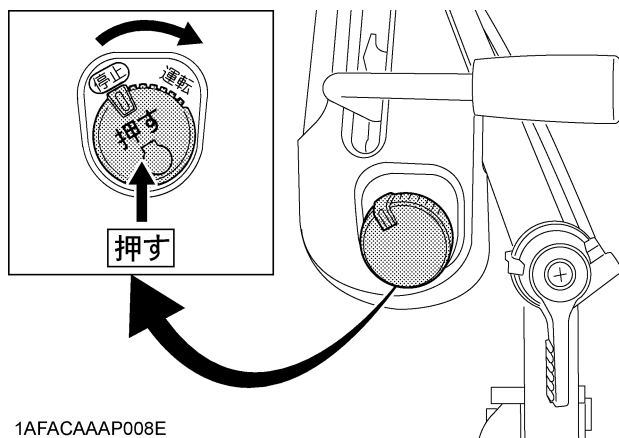
4. チョークレバーを引き【閉】にします。



5. スロットルレバーを【高】にします。



6. エンジンスイッチを押しながら【運転】位置までまわします。



7. リコイルスタータハンドルを握って、引っ張ります。
エンジンが始動したら、リコイルスタータハンドルを静かに元に戻してください。
8. エンジンの運転状態を確認しながら、チョークレバーを徐々に【開】の位置に戻します。
9. 2～3分暖気運転をしてから、作業を始めてください。

重要

- * 運転中はリコイルスタータを引かないでください。

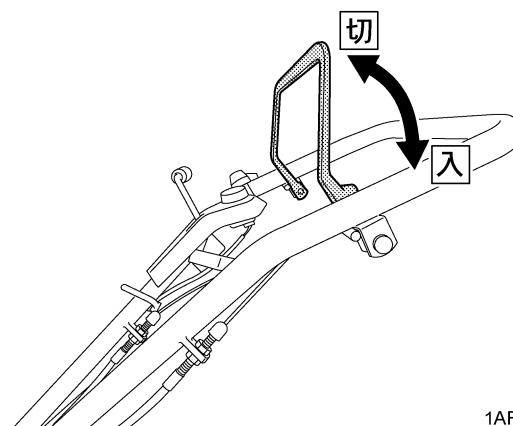
■停止のしかた



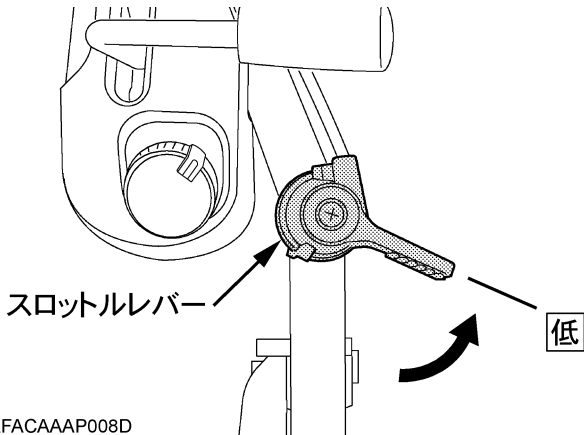
警告

- * 停止直後はしばらくマフラが熱くなっています。手を触れないでください。ヤケドのおそれがあります。

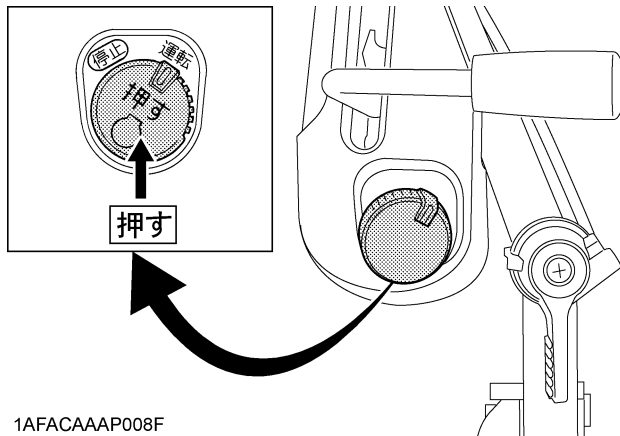
1. 主クラッチレバーを【切】にします。（手を離す）



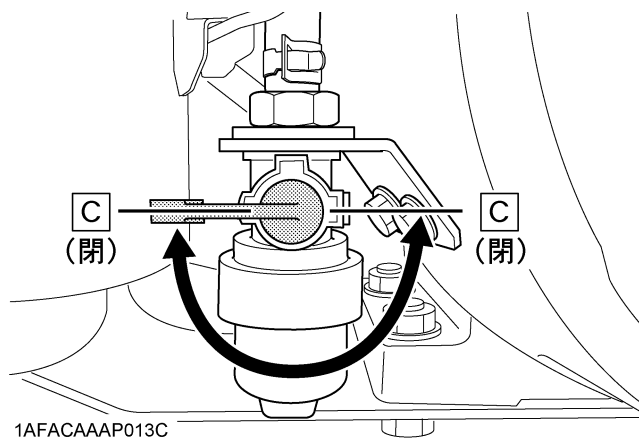
2. スロットルレバーを【低】にします。



3. エンジンスイッチを押すと左にまわって【停止】位置に戻り、エンジンが停止します。



4. 燃料コックを【C】(閉)にします。



重要

- * コックを開いたままの状態では保管したり、車両で運搬したりすると、エンジン始動が困難となる場合があります。
また、クランクケース内へガソリンが流入することもあります。

発進のしかた



警告

- * 運転中は周囲に人を近づけないでください。傷害事故のおそれがあります。
- * 傾斜地での運転や後進するときなどは、ハンドルが持ち上がり、体や首をはさまれるなどのおそれがありますので、主クラッチをゆっくり操作してください。
- * 狭い場所での運転や後進の運転については、エンジンの回転を低速にし、後方や上方などまわりの安全を確かめゆっくりと主クラッチ操作をしてください。
- * 危険を感じたら、早めに手を離してください。

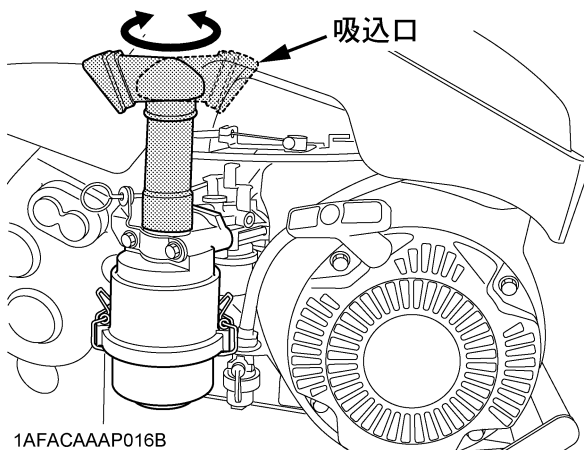
1. クラッチレバーが【切】の位置にある（手を離した状態）ことを確認した後、変速レバーを必要な変速位置にします。
2. クラッチレバーを【入】（握った状態）にすると発進します。
3. スロットルレバーを操作して速度を調整します。

運転のしかた

各部の調節

■エアクリーナの調節

エアクリーナの吸込口が回転します。作業に応じ、チリやホコリの少ない方に吸込口の向きを変えてください。



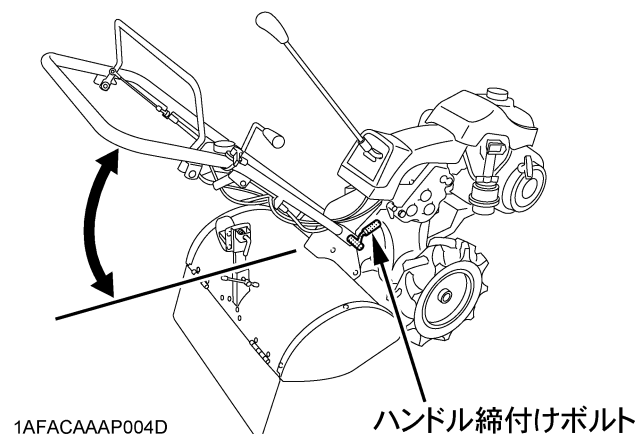
■ハンドル高さの調節



注意

*** 平坦な場所に機械を安定させて行なってください。**

ハンドル締付ボルトを4～5回転ゆるめて、高さを調節してください。調節後、確実に締付けてください。



重要

*** 調節時はハンドルを支えながらボルトをゆるめてください。ハンドルが自重で下がり、カバーなどをいためます。**

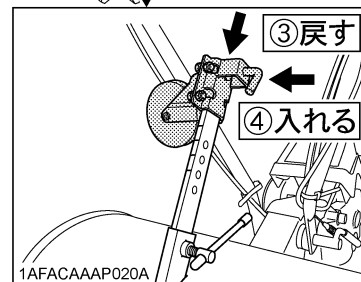
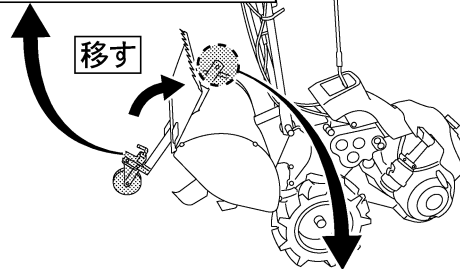
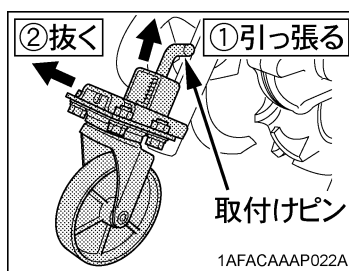
■耕深調節のしかた



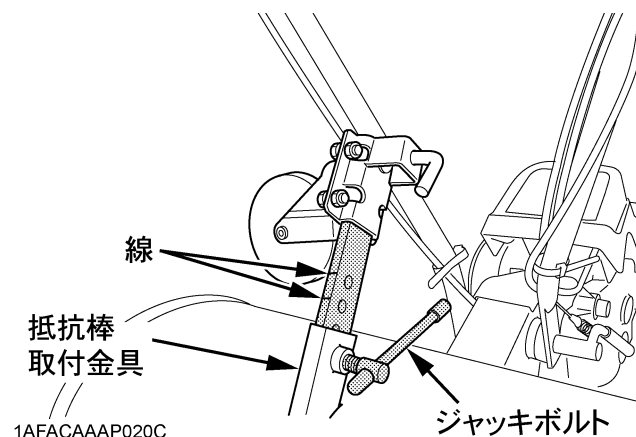
注意

*** 調節時は必ずエンジンを停止してください。傷害事故を引き起こすおそれがあります。**

1. 機体のエンジン側を接地させ、整地板は上にあげます。
2. 取付けピンを引っ張りながら移動輪を外し、抵抗棒の上部に戻します。



3. ジャッキボルトをゆるめ、抵抗棒の後部についている線を図のように抵抗棒取付金具の上部に合わせ、ジャッキボルトを締付けます。



4. 4段階に調節できます。

- (1) 上の線に合わせる……**浅く耕す**
- (2) 下の線に合わせる……**深く耕す**

● 耕うん調節の目安

【TR500】

上から 3, 4 番目の線に合わせてください。

【TR600, TR600-U, TR700】

正転作業……上から 2, 3 番目の線に合わせてください。

逆転作業……上から 1 番目の線に合わせてください。

補 足

- * ほ場の状態により異なります。ほ場に合った位置を選んでください。
- * **【TR600・700】** は、ほ場が硬い場合 **【逆転】** で作業してください。
- * 逆転時は浅く耕してください。

重 要

- * 調節後、ジャッキボルトを確実に締付けてください。

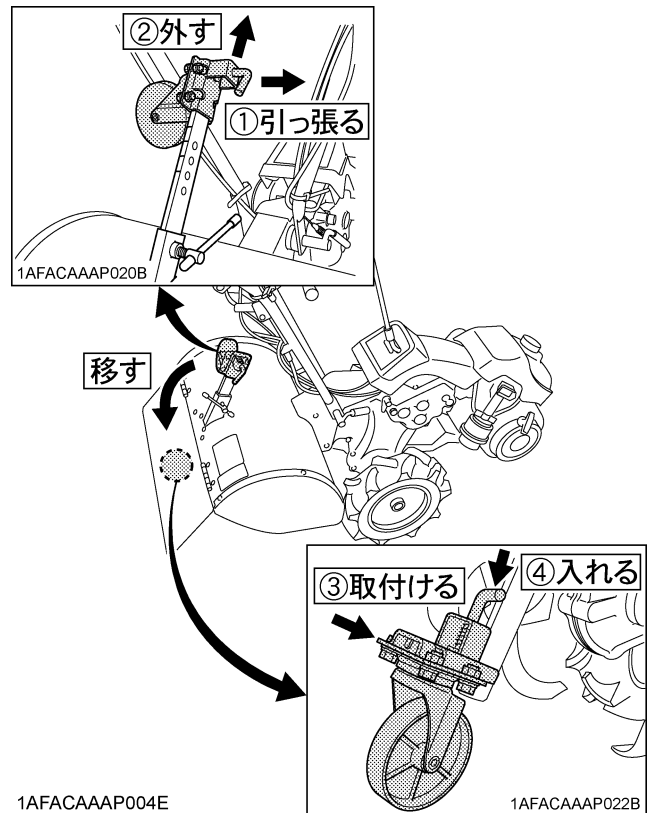
■ 移動輪の使いかた



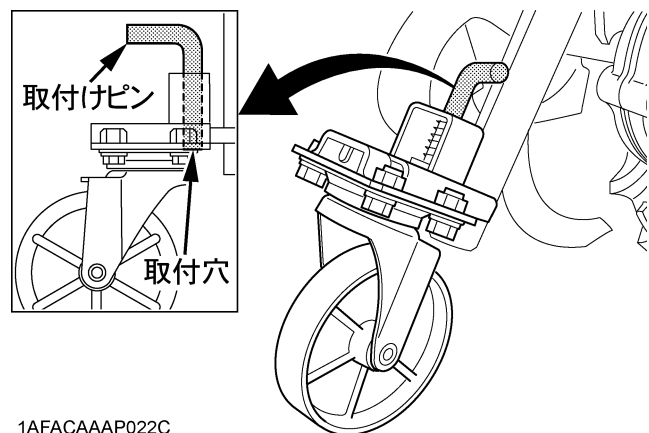
注 意

- * ロータリに付いた土を落としてください。
- * 取付け・取外し作業は、必ず平坦な場所でエンジンを停止して行なってください。
- * 上記の手順をおこないますと、ロータリ部が落下して傷害事故を引き起こすおそれがあります。
- * ロータリ専用機は公道では走行できません。公道を移動するときは、トラックに積んで運搬してください。

1. 移動時には、抵抗棒の上部にある移動輪を取付けピンを引っ張りながら外し、抵抗棒の下部へ取付けます。このとき、機体はエンジン側を接地させてください。



2. 移動輪の取付けピンが、抵抗棒の取付穴に入っていることを確認してください。



重 要

- * 移動輪をつけた状態で作業しないでください。
- * 移動輪と整地板があたらないように取付けてください。

運転のしかた

■培土機を取付けかた



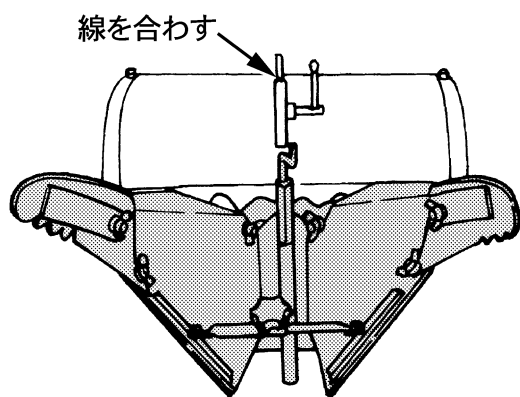
警告

- * 培土機を取付け時は、エンジンを停止してください。傷害事故のおそれがあります。

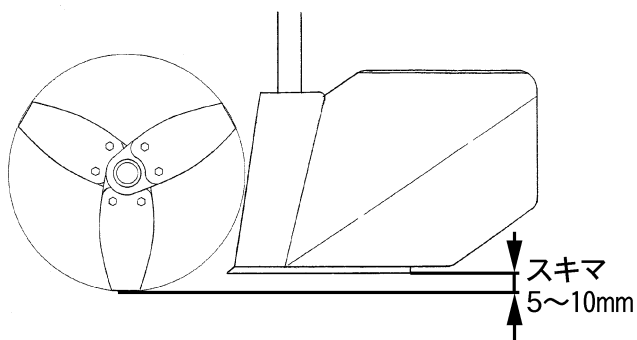
培土機は抵抗棒を外して取付けます。調節は、抵抗棒の取付けと同じく取付棒の後側にある線を抵抗棒取付金具上端に合わせ、ジャッキボルトを締付けます。

重要

- * 調節後は、ジャッキボルトを確実に締めてください。
- * 取付け時は、整地板を上にあげて培土機を挿入してください。



1AFACAAAP068A



1AFACAAAP069A

- * 培土板角度調節用ノブボルトがついていますので任意の角度に調節してください。

■正転作業（耕うん）

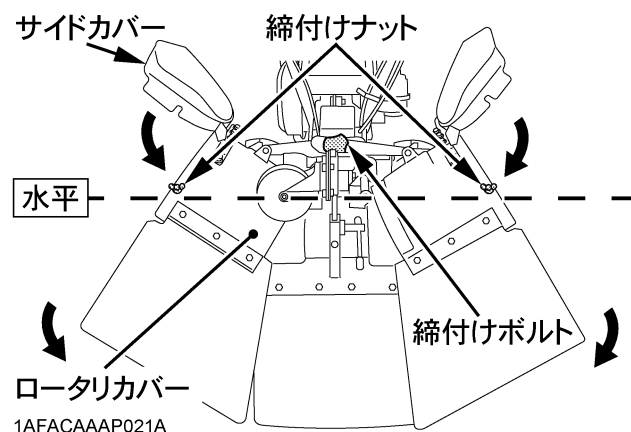
[TR600-U]



注意

- * 爪軸・カバー調節時は、エンジンを必ず停止してください。

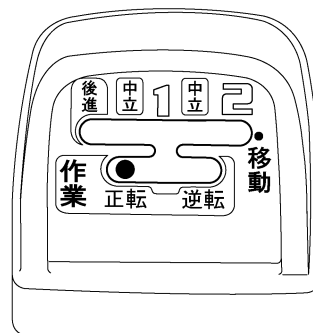
1. 爪軸を耕うんの向きに取付けてください。
(23 ページの「耕うん爪の取付けかた」を参照)
2. 締付けボルトをゆるめてロータリカバーを水平までさげます。次に締付けボルトで十分に固定してください。
サイドカバーは締付けナットをゆるめて下までさげます。次に締付けナットで固定してください。



3. ロータリ **【正転】** で作業を行なってください。

重要

- * 爪軸が正転作業（耕うん）の向きの時 **【逆転】** で使用すると、故障の原因となります。



1AFACAAAP010B

[TR600-U]

■逆転作業（うね立て）

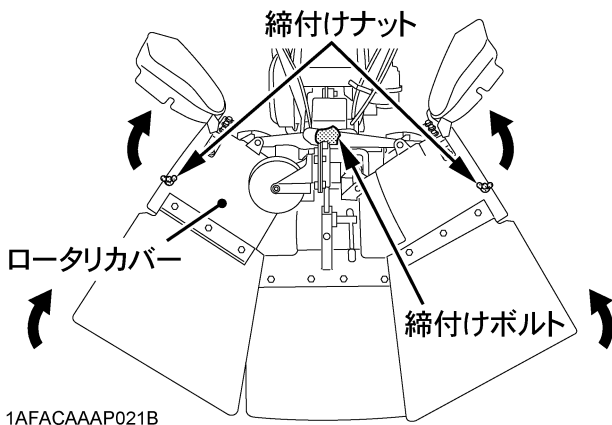
[TR600-U]



注 意

* 爪軸・カバー調節時は、エンジンを必ず停止してください。

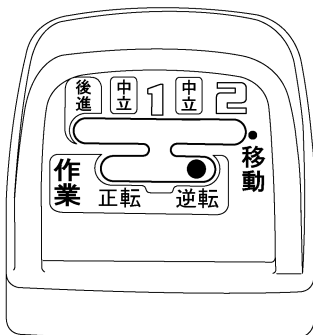
1. 爪軸をうね立て作業の向きに取付けてください。（23 ページの「耕うん爪の取付けかた」を参照）
2. 締付けボルトをゆるめてください。ロータリカバーを用途に合わせて調節してください。サイドカバーは締付けナットをゆるめて調節してください。



3. ロータリは **【逆転】** で作業を行なってください。

重 要

* 爪軸が逆転作業（うね立て）の向きの時 **【正転】** で使用すると、故障の原因となります。



1AFACAAAP010C

[TR600-U]

■車輪幅の調節のしかた

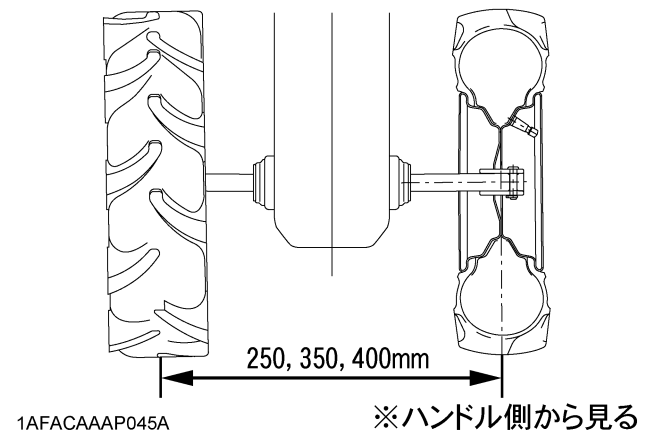
[TR600-U]



注 意

* 車輪幅の調節時は、エンジンを必ず停止してください。

作業にあわせて車輪幅を調節してください。ピン穴位置により調節できます。



[TR600-U]

ロータリ専用機の簡単な手入れと処置



注意

- * 給廃油・点検・調節・清掃は、エンジンを停止して行なってください。
- * 平坦な場所に機械を安定させて行なってください。

廃棄物の処理について



警告

廃棄物をみだりに捨てたり、焼却すると、環境汚染につながり、法令により処罰されることがあります。

廃棄物を処理するときは

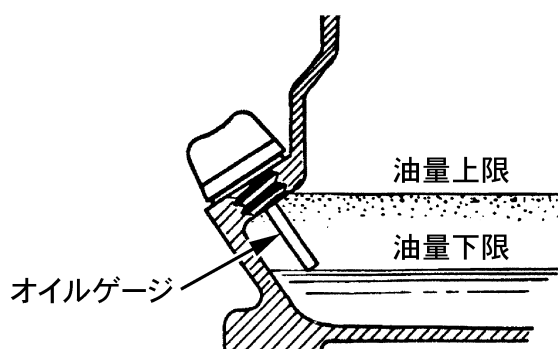
- * 機械から廃液を抜く場合は、容器に受けてください。
- * 地面へのたれ流しや河川、湖沼、海洋への投棄はしないでください。
- * 廃油、ゴム類、その他の有害物を廃棄、又は焼却するときは、購入先、又は産業廃棄物処理業者等に相談して、所定の規則に従って処理してください。

日常の手入れ

■エンジンオイルの交換

◆ 給油のしかた

エンジンを水平にし給油口の口元まで入れてください。



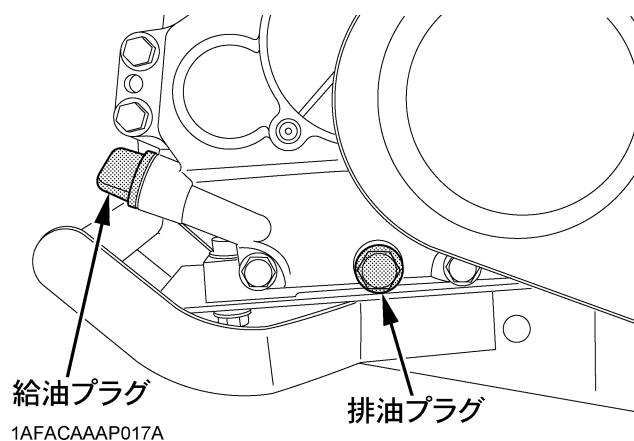
1AFACAAAP064A

◆ 排油のしかた

機体を水平に安定させプラグを外し、排油してください。

重要

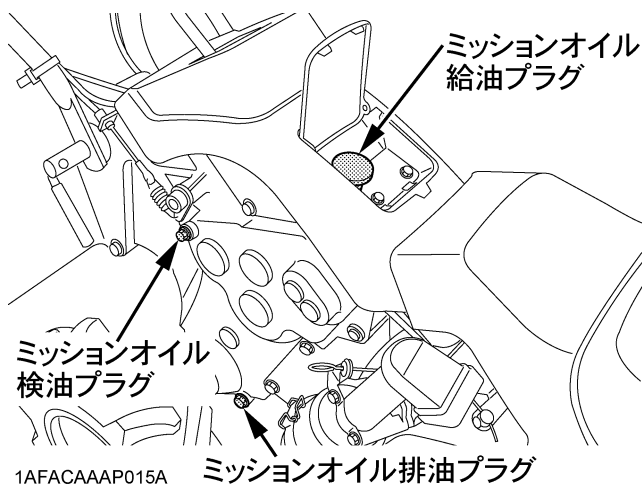
- * 粗悪なオイルを使用しますと、エンジンの寿命を急激に縮めますので、販売店・農協でクボタ純オイル G20 又は G30 とご指定の上、お求めください。(次表参照)
- * 排油・検油・給油後はプラグを確実に締めてください。



■ミッションオイルの交換

◆ 給油のしかた

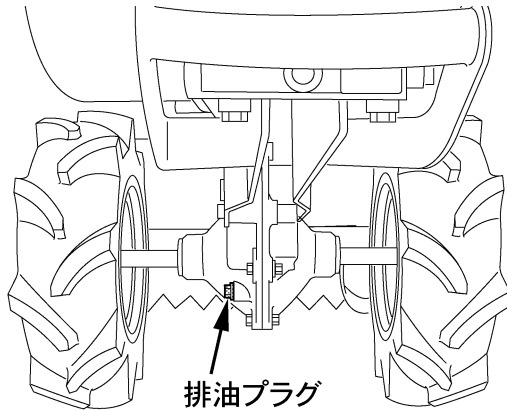
機体を水平にし検油口まで給油してください。



ロータリ専用機の簡単な手入れと処置

◆ 排油のしかた

排油プラグを外して排油します。



1AFACAAAP018A

重 要

- * 粗悪なオイルを使用しますと、機械の寿命を急激に縮めますので、購入先でクボタ純オイル M80B, M90 又は UDT とご指定の上、お求めください。(下表参照)
- * 排油・検油・給油後はプラグを確実に締めてください。
- * オイルを交換する場合は、まず旧油を排出しますが、ケース内のゴミも同時に排出させるために、できるだけ運転使用後、オイルが暖まっている状態の時排出してください。

オイルの点検と交換表

項目 (オイル量)		点検方法	交換		オイルの種類
			第一回目	以後	
エンジンオイル	[TR500] 0.55 L	機体水平	20 時間 使用後	50 時間 使用後	クボタ純オイル (ガソリンエンジン用) 夏 G30・冬 G20W-20
	[TR600 (-U), 700] 0.6 L				
ミッションオイル (5.2 L)		機体水平	20 時間 使用後	年一回	クボタ純オイル (ミッション用) M80B, M90 又は UDT

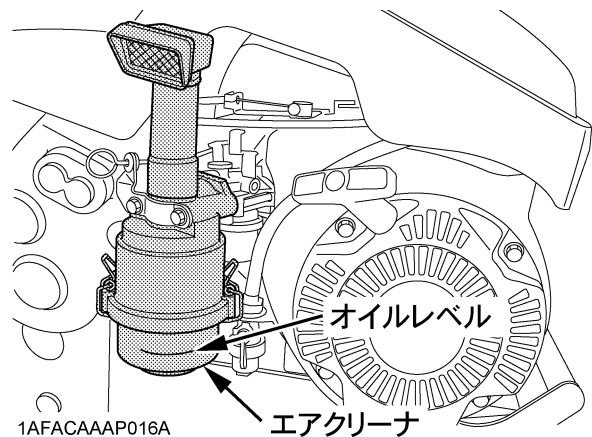
■エアクリーナエレメントの清掃

1. エレメントを外し、白灯油で洗い、エレメントの白灯油をよく振切って取付けてください。
2. オイルパンはよく洗浄し、新しいエンジンオイルを規定量入れてください。
 - 規定量……**OIL LEVEL** と記載されているところ

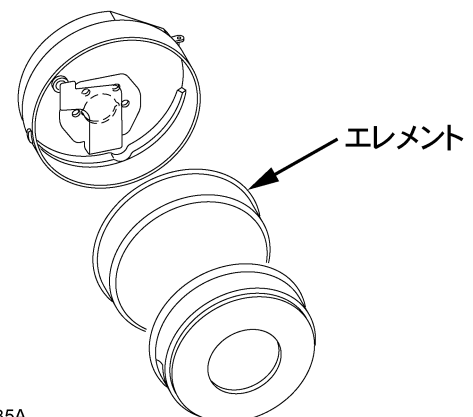
重 要

- * 汚れたまま使用しますと、エンジンの出力低下や故障の原因になります。

50 時間使用ごと	エアクリーナの点検
200 時間使用ごと	エアクリーナの清掃



1AFACAAAP016A



1AFACAAAP035A

ロータリ専用機の簡単な手入れと処置

■燃料パイプの交換

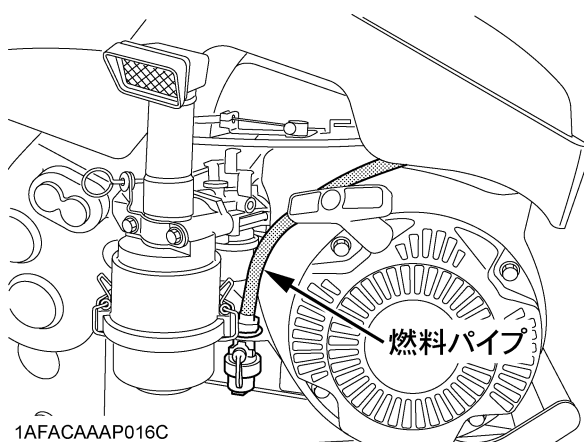


警告

* 燃料パイプは自然劣化したり傷があると、ガソリンもれして火災の原因となります。ヒビや割れが発生したものは、新しい燃料パイプと交換してください。

交 換

2 年間ごと



1AFACAAAP016C

■燃料フィルタの清掃

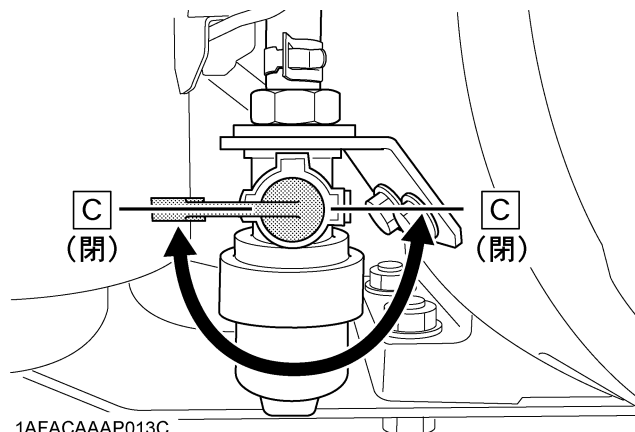


注意

* 取付け後、ガソリンもれがないか確認してください。

1. 燃料フィルタは、燃料のゴミを取除きます。取除かれたゴミは、ポットの底にたまります。
2. 燃料コックレバーを【閉】にし、フィルタポットを外し、ポットの底にたまっているゴミや水を捨ててください。

100 時間使用ごと	フィルタの清掃
300 時間使用ごと	タンクの清掃

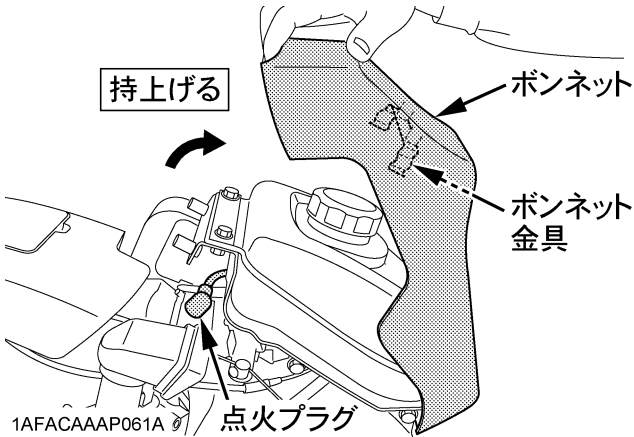


1AFACAAAP013C

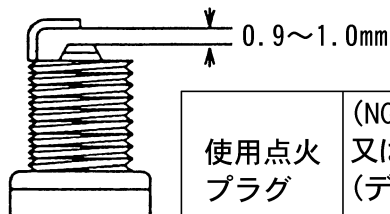
ロータリ専用機の簡単な手入れと処置

■点火プラグの調節・清掃・交換

1. ボンネットを開けるには、ボンネット後方に手を掛けて持ち上げ、ボンネット金具を外します。



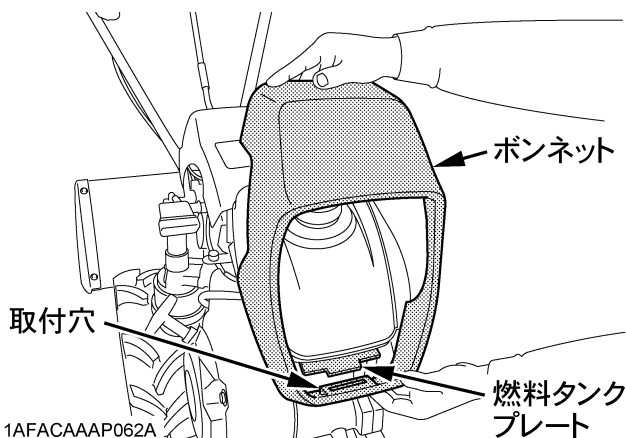
2. プラグ用ボックススパナでプラグを外して、清掃します。
3. 電極のすきまが 0.9 ～ 1.0mm になるように調節してください。
4. 点検調節は 6 ヶ月に 1 回行ってください。



1AFACAAAP051A

使用点火 プラグ	(NGK)BP6HS 又は (デンソー) W14FPUL-10
-------------	--

5. 作業が終わったら、機体先頭側の燃料タンクプレートにボンネットの取付穴を差込んでから、元の位置に戻してください。



重 要

- * プラグ締付け時は、ネジ山をつぶさないように、はじめ手で締め込んでから、ボックススパナで締付けてください。

- * 調節・清掃してもエンジンが不調なときは、新しいプラグと交換してください。
- * プラグを外したまま始動操作しないでください。

■主クラッチケーブルの調節



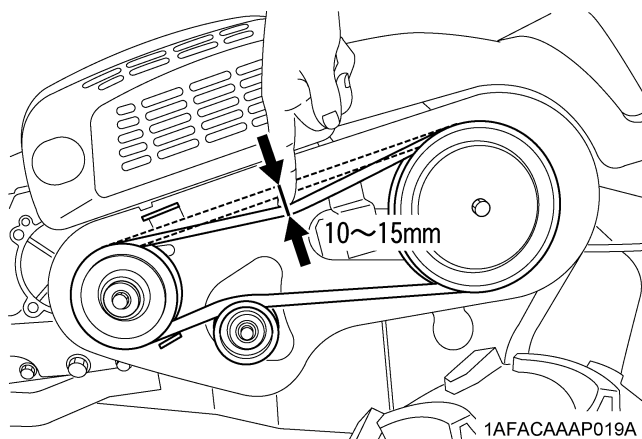
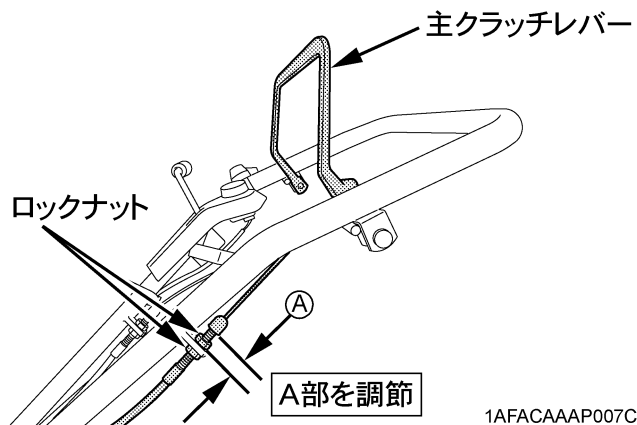
- * ベルト調節を行なう場合は、必ずエンジンを停止して行なってください。
- * 調節が終わったら必ずベルトカバーを取付けてください。巻き込まれるなど傷害事故を引き起こすおそれがあります。
- * エンジンを始動する前に、主変速レバーを中立にしてください。
- * 調節・確認時は周囲に人や動物を近づけないでください。傷害事故を引き起こすおそれがあります。

◆主クラッチケーブルによる調節

主クラッチレバーを入れた状態でベルトの中央部を指で押えて10～15mm たわむ程度にケーブル調節金具でテンションプーリを調節してください。なお、使用初期はベルトが伸びやすいため、10 時間使用後ケーブルを再調節してください。

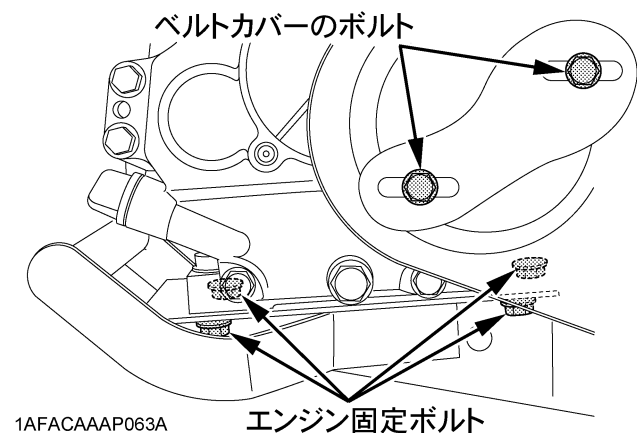
ベルトがスリップする場合	調節金具の A 部を短くする
主クラッチレバーが重すぎる場合	調節金具の A 部を長くする

ロータリ専用機の簡単な手入れと処置



◆ エンジン前後によるベルトの調節

ベルトが伸びたり、又は新しいベルトに取替えたとき、主クラッチケーブルで主クラッチの調節が出来ない場合は、エンジンを前後に移動調節します。エンジンプーリを外し、エンジン固定ボルト4本とベルトカバーのボルト2本をゆるめて調節してください。調節後は確実にボルトを締めてください。

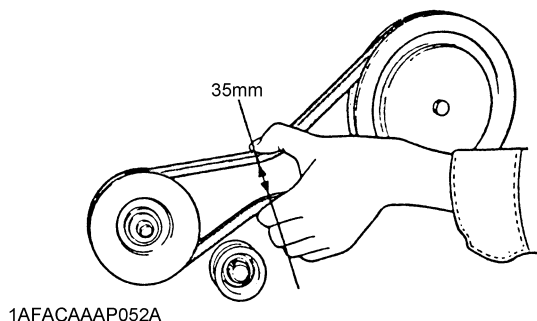


重 要

* 主クラッチケーブルを調節した場合、エンジンを始動してクラッチの【入】・【切】が確実に作動するか確認してください。

◆ 新しいベルトに交換する場合

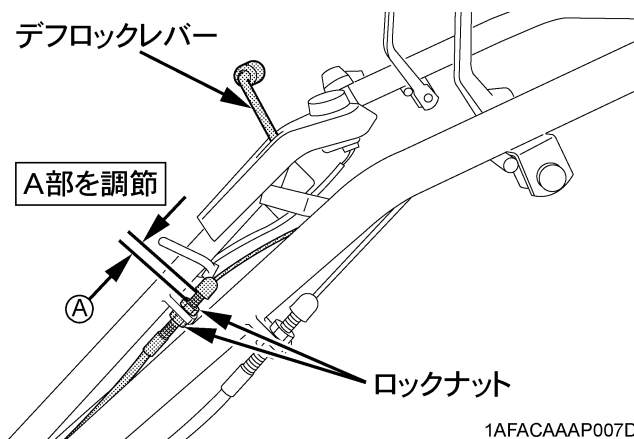
新しいベルトに交換する場合は、ベルト中央部を指ではさんですき間が約 35mm たわむくらいにして、エンジン固定ボルトを締付けてください。



■ デフロックスケーブルの調節

デフロックスレバーを【直進】にしてもロックされにくい場合、又、デフロックスレバーを【旋回】にしてもロック解除されにくい場合は、調節金具で調節します。

ロックされにくい	調節金具のA部を短くする
ロック解除されにくい	調節金具のA部を長くする



重 要

* 調節後は、調節金具のロックナットを確実に締付けてください。

ロータリ専用機の簡単な手入れと処置

■耕うん爪の取付けかた

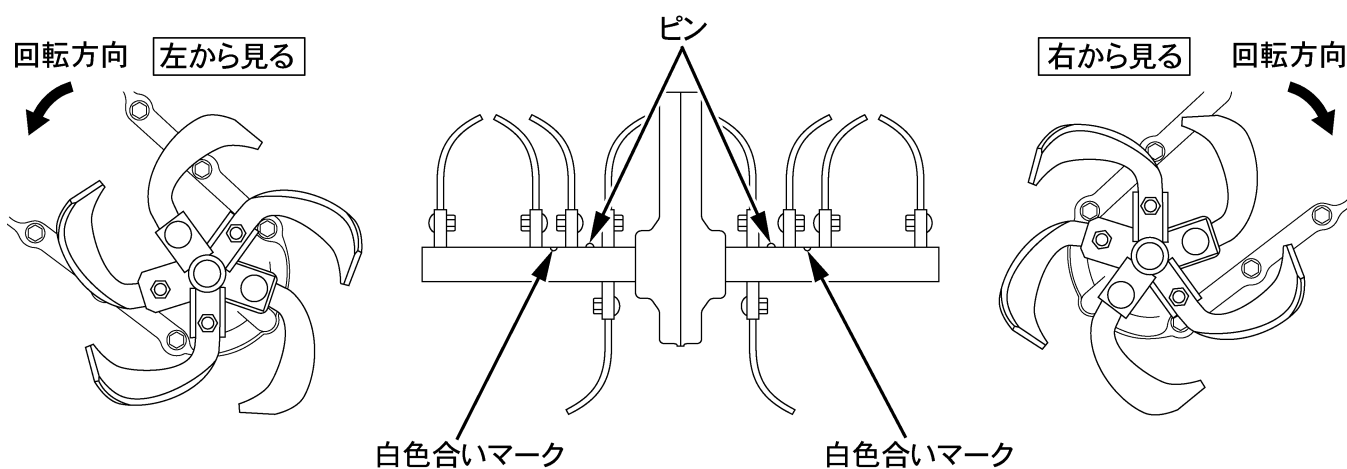


警告

- * 爪の交換時は、エンジンを停止してください。
- * サイドカバーを外した時は、危険ですから必ず、爪交換後サイドカバーを確実に取付けてください。
- * 爪交換時はロータリに付いた土を落とし、ロータリ部が落下しないようにしてください。
- * 上記の手順をおこたると、傷害事故のおそれがあります。

◆ 耕うん爪は、下図のように取付けます。

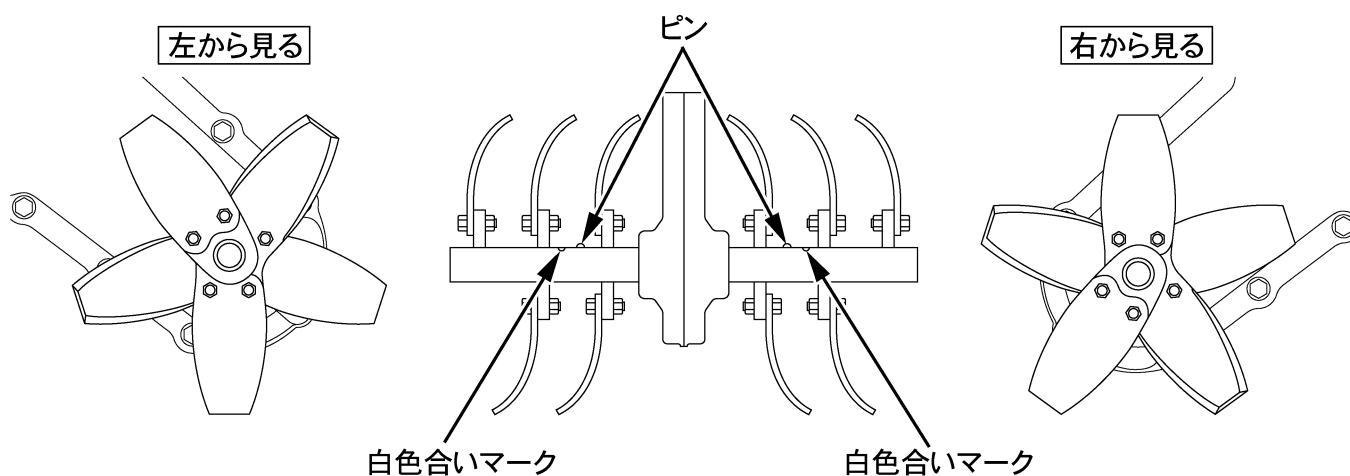
[TR500]



1AFACAAAP065A

[TR500]

[TR600, 700]



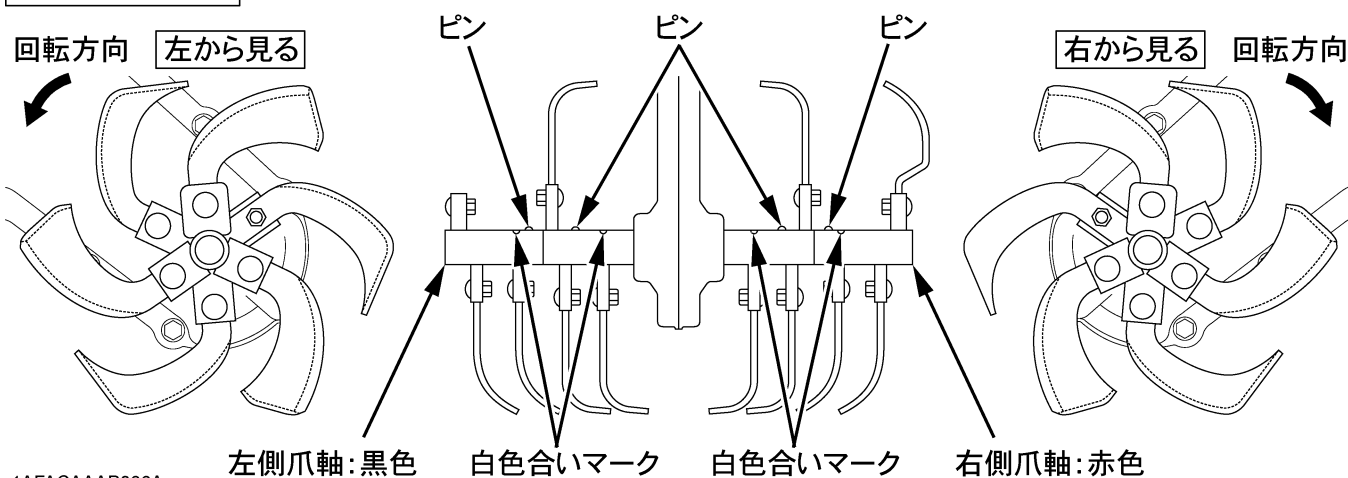
1AFACAAAP058A

[TR600, 700]

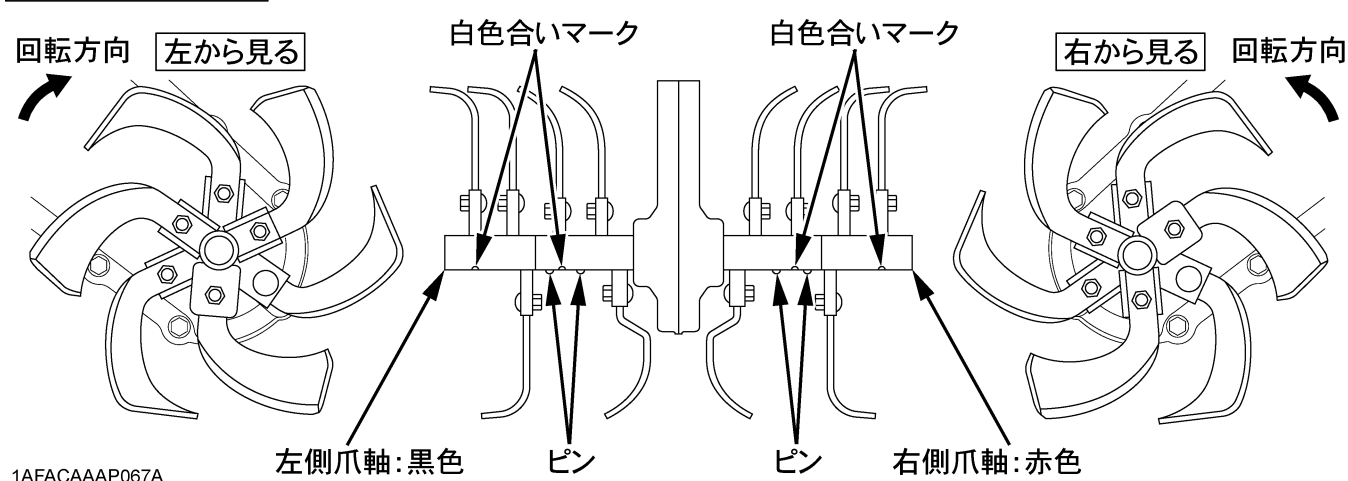
ロータリ専用機の簡単な手入れと処置

[TR600-U]

正転作業(耕うん)



逆転作業(うね立て)



耕うん幅を狭める場合は、外側のピンを取外してから外側の爪軸を取外してください。

[TR600-U]

◆ 締付けトルク

[TR600, 700] (M8)	23.5 ~ 27.4 N・m
[TR500, 600-U] (M10)	48.0 ~ 55.9 N・m

重 要

- * 爪軸を取付けるときは、白色合いマークを合わせてください。
- * 爪の内外の向きをまちがえないようにしてください。
- * 正転作業と逆転作業の爪軸の取付けかたは、内側のピンのみを取外し、左右それぞれの爪軸を反転させてください。【TR600-U】
- * 作業前には爪の取付けボルト・ナットにゆるみがないか確認し、増締めをしてください。
- * 爪を交換後は、ボルトを確実に締めてください。

ロータリ専用機の簡単な手入れと処置

■タイヤの空気圧



警告

- * タイヤの空気圧は、取扱説明書に記載している規定圧力を、必ず守ってください。空気の入れ過ぎは、タイヤ破裂のおそれがあり、死傷事故を引き起こす原因になります。
- * タイヤに傷があり、その傷がコード（糸）に達している場合は、使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。
- * タイヤ、チューブ、リムなどの交換、修理は、必ず購入先にご相談ください。（特別教育を受けた人が行なうように、法で決められています。）

空気圧が高すぎても低すぎても、タイヤの寿命を縮めますから、定期的に空気圧を調べ、適正になるように調節してください。

適正空気圧	120 ~ 140kPa (1.2 ~ 1.4kgf/cm ²)
-------	---

空気を入れるには、エアーコンプレッサ、又は自動車などのタイヤに空気を入れる高圧手押しポンプを用いてください。

使用後の手入れ

使用後は、必ずその日に清掃を行ない、各部に付いている土やゴミを落とし、各しゅう動部はさびないように油やグリス及び防錆剤を適宜塗布してください。特にファンカバー内にゴミが詰まりますと、エンジンの焼付きなどの原因になりますので、よく点検・清掃を行なってください。

重要

- * 水洗いのとき、エアクリーナ吸込口から水が入らないようにカバーをしてください。

■エンジン始動不良を防ぐために

エンジン停止後、必ず燃料コックを閉めてください。

重要

- * コックを開いたままの状態、保管したり、前に倒したり、また車両で運搬したりすると、エンジン始動が困難となる場合があります。また、クランクケース内へガソリンが流入することもあります。

■長期格納時の手入れ



注意

- * カバーをかけたり、納屋に格納するときは、火災のおそれがあるため、エンジンが冷えてからにしてください。
- * 燃料がこぼれたときは、きれいにふき取ってください。爆発・火災のおそれがあります。

1. 主クラッチレバーは【切】の位置にして保管します。
2. 燃料タンク・キャブレーター・フィルタポットの中のガソリンは全て抜取ります。（1ヶ月以上使用しないとき）
3. オイルを交換し、各部をきれいに掃除します。
4. エアクリーナエレメントを、掃除しておきます。
5. エンジンのシリンダ内に湿気が入って、始動が困難になるのを防止するため、リコイルスタータハンドルを引っ張って、圧縮位置で止めておきます。
6. カバーをかけ、湿気や草・ワラ及びホコリのない場所に置いてください。

重要

- * ほ場に保管していると、地面からの湿気が多いのでさびやすくなります。

ロータリ専用機の簡単な手入れと処置

■燃料の抜取り



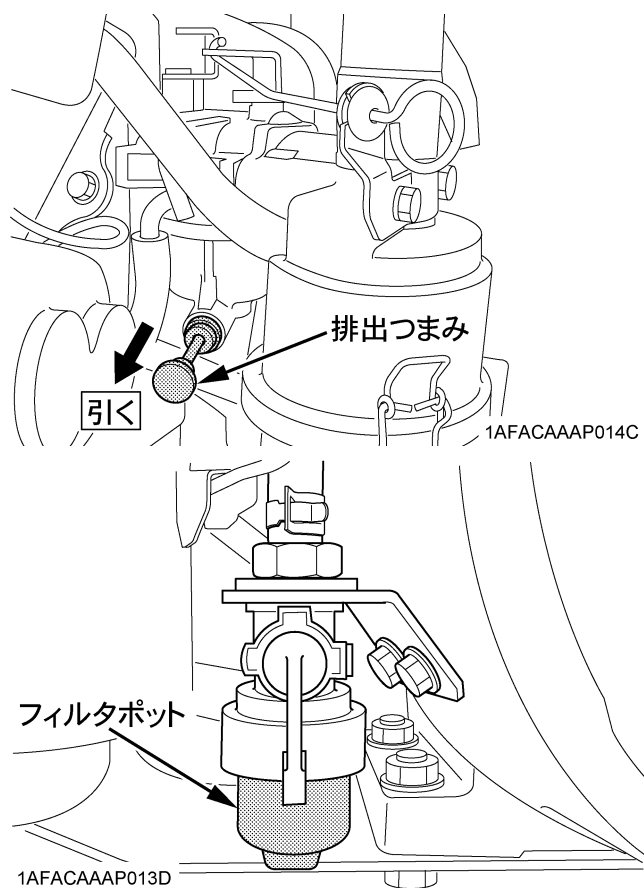
注 意

*** 燃料がこぼれた時はきれいにふき取ってください。**

1ヶ月以上使用しないとき、燃料タンク内のガソリンはポンプなどを使用して抜取り、キャブレター内は排出つまみを引いて、フィルタポットは外して全部抜取ってください。

重 要

* 燃料をそのままにしておくと、燃料タンクやキャブレター内のガソリンが腐って、次の始動が困難になります。



ロータリ専用機を運搬するとき



注 意

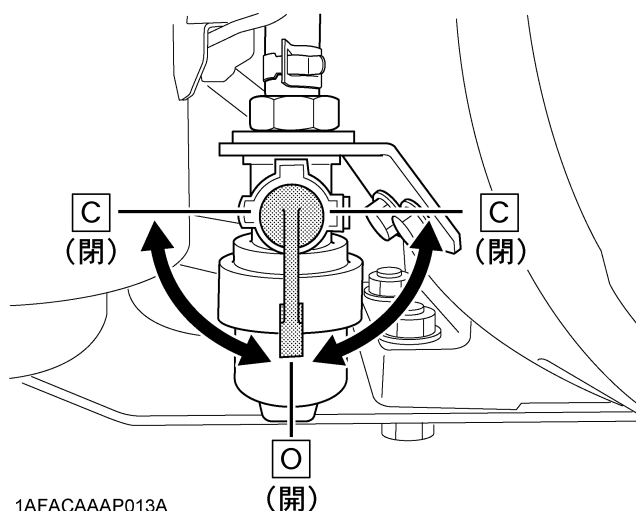
- * 積み込み・積み降ろしは、平坦で交通の邪魔にならない安全な場所で行なってください。
- * アユミ板はすべり止めの付いた、機体重量に耐えるもので、トラックの荷台の高さ【1】に対しアユミ板の長さ【4以上】のものを使用し、確実に固定してください。
- * 足元に注意し、車速は最低速で上りは【前進】、下りは【後進】で行なってください。
- * 途中で主クラッチを切ったり、変速操作を絶対にしないでください。落下・転倒のおそれがあります。
- * デフロックレバーは【直進】の位置にしてください。【旋回】の位置にすると思わぬ方向に進むことがあり危険です。
- * トラックは、荷台に天井がない車を使用してください。首や体をはさまれるおそれがあります。
- * トラックでの運搬時は、タンク内のガソリンの量を、積み込み・積み降ろしに必要な最低量とし、残りのガソリンは、別に用意しておいた法で定められたタンクに移して運搬してください。火災のおそれがあります。

自動車(トラック)への積み込み、運搬

1. トラックを平坦な場所に止め、駐車ブレーキを掛けます。
2. あゆみ板を荷台に確実に固定します。
3. 上り、下りは【最低速】で走行します。
4. 主変速レバーは、【最低速】に入れます。
5. 機体は荷台にロープで確実に固定します。
6. 機体にロープを掛けるときは、前部プロテクター・抵抗棒・ハンドルの3箇所を固定してください。
7. 燃料コックレバーは【閉】にします。
8. 雨天時には、エアクリーナの吸込口にカバーをかぶせてください。

重 要

- * ロープを掛けるとき、変速レバーや樹脂カバー、小物部品にロープが触れないように気をつけてください。
破損したり機能が損なわれるおそれがあります。
- * エアクリーナの吸込口にカバーをかぶせないで運搬すると、雨水や砂ホコリが入り、エアクリーナ性能が低下します。
- * 燃料コックレバーを【開】いたまま運搬すると、キャブレター内でガソリンがオーバーフローし、エンジン始動が困難となります。また、クランクケース内にガソリンが流入することもあります。



付表

主要諸元

販 売 型 式 名		TR500	TR600	TR700	TR600-U	
機 体 寸 法	全長 (mm)	1440	1430	1470	1430	
	全幅 (mm)	620			585	
	全高 (mm)	1030	1050	1030	1050	
機体質量(重量) (kg)		77	86	88	86	
エ ン ジ ン	型式名	GR130-E-GT-KN3	GR170-E-GT-KN3			
	種類	空冷 4 サイクル傾斜型 OHV ガソリンエンジン				
	総排気量 (L {cc})	0.125 {125}	0.169 {169}			
	連続定格出力 (kW{PS})/ rpm	2.0 {2.7} / 1700	3.0 {4.1} / 1700			
	最大出力 (kW{PS})	3.2 {4.3}	4.6 {6.2}			
	使用燃料	自動車用無鉛ガソリン				
	燃料タンク容量 (L)	2.0				
	始動方式	リコイルスタータ式				
走 行 部	車輪 (タイヤ)		3.50-6	3.50-7	4.00-7	3.50-7
	輪距 (mm)		400			250・350・400
	主クラッチ方式		ベルトテンション式			
	操向クラッチ方式		デフ式 (ロック付)			
	変速段数 (段)		前進 2 ・ 後進 1		前進 3 ・ 後進 1	前進 2 ・ 後進 1
	走行速度	前進 (km/h)	0.92 ～ 3.63	0.99 ～ 3.91	0.97 ～ 4.46	0.99 ～ 3.91
		後進 (km/h)	0.65	0.70	0.69	0.70
	車軸の形状・寸法 (mm)		丸軸・直径 20			
ロ ー タ リ	駆動方式		センタードライブ			
	変速段数 (段)		正転 1	正転 1 ・ 逆転 1		
	爪軸回転速度 (rpm)		正転 202	正転 215 ・ 逆転 247		正転 237 ・ 逆転 349
	耕幅 (mm)		550			330・500
	爪回転径 (mm)		290	330		
	爪軸の形状・寸法 (mm)		丸軸・直径 25			
	ロータリカバー形状		固定式			開閉式

走行速度一覧表

変 速		TR500	TR600	TR700	TR600-U
		km/h (m/分)	km/h (m/分)	km/h (m/分)	km/h (m/分)
前進 1		0.9 (15.3)	1.0 (16.5)	1.0 (16.1)	1.0 (16.5)
前進 2		3.6 (60.5)	3.9 (65.1)	1.3 (22.0)	3.9 (65.1)
前進 3		なし	なし	4.5 (74.4)	なし
後進 1		0.6 (10.8)	0.7 (11.6)	0.7 (11.5)	0.7 (11.6)
条 件	定格回転数 (rpm)	1700			
	プーリ外径 (mm)	φ 90 - φ 148			
	タイヤ	3.50-6	3.50-7	4.00-7	3.50-7

標準付属部品

品名	数量 / 台	備考
プラグボックス	1	
取扱説明書	1	
保証書	1	
ガソリンメンテナンス要領書	1	

付表

主な消耗部品一覧表

● 本機関係

品 名	品 番	数 量			備 考
		TR500	TR600 TR700	TR600-U	
V ベルト (B39)	KA731-62210	1			
ケーブル, コンプ (シュクラッチ)	KA731-42110	1			
ケーブル, コンプ (デフロック)	KA731-42810	1			
コード (ストップスイッチ)	KA731-55120	1			
アタマツキピン	05122-50835	2			タイヤ取付用
スナップピン	05525-50800	2			タイヤ取付用
オイルシール	60751-12460	2			車軸
オイルシール	61011-17150	2			耕うん軸
マルピン M10	91201-36430	2		4	爪軸取付用
スナップピン	05525-51000	2		4	爪軸取付用
コウウンヅメ (300, ヒダリ)	KA711-33310	5	—		
コウウンヅメ (300, ミギ)	KA711-33320	5	—		
ツメ (セイギャク)	KA731-33310	—	10	—	
ツメ (ナタ 10, ヒダリ)	60724-32150	—		3	
ツメ (ナタ 10, ミギ)	60724-32160	—		3	
ツチアゲヅメ V/24 ヒダリ	91183-11230	—		2	
ツチアゲヅメ V/24 ミギ	91183-11240	—		2	
ヘンケイツチアゲヅメ ヒダリ	91183-11210	—		1	
ヘンケイツチアゲヅメ ミギ	91183-11220	—		1	
ツメトリツケボルト	91201-11470	10	—	12	爪取付用, M10
バネザガネ	04512-50100	10	—	12	爪取付用, M10
ナット	02118-50100	10	—	12	爪取付用, M10
ボルト	01153-50820	—	20	—	爪取付用, M8
バネザガネ	04512-50080	—	20	—	爪取付用, M8
ナット	02114-50080	—	20	—	爪取付用, M8

● エンジン関係

品 名	品 番	数 量		備 考
		TR500	TR600 TR600-U TR700	
スパークプラグ	13902-67710	1		
フィルタエレメント	12866-43160	1		燃料用
パッキン	12866-43140	1		燃料用
フューエルチューブ	09661-60240	1	—	燃料タンクからフィルタポット
フューエルチューブ	09661-60260	—	1	燃料タンクからフィルタポット
フューエルチューブ	09664-60130	1		フィルタポットからキャブレター
エレメント, アッシ (エアクリーナ)	E3174-11180	1		エアクリーナ用
ガスケット (オイルパン)	E3174-11300	1		エアクリーナ用

トラブルと処置

■ エンジンが始動しないとき

原 因	処 置
● 始動の手順が間違っている。	正しい順序で始動する。(11 ページの「運転のしかた」を参照)
● タンクにガソリンを入れたまま 1 ヶ月以上保管しガソリンが腐った。	タンク・キャブレーター内の腐ったガソリンを排出し、新しいガソリンを入れる。
● フィルタポットに水やゴミが混入している。	ポットを外してフィルタエレメントを清掃する。また新しい物と交換する。キャブレーター内のガソリンも排出する。
● チョークを引いた（閉じた）状態でリコイルを何回も引過ぎガソリンを吸いすぎた。	チョークを戻し（開き）リコイルを引くか、点火プラグを外して乾燥させる。
● エンジン停止後、燃料コックを閉じないで本機を前に倒したり、車両で運搬したためキャブレーターがオーバーフローした。	クランクケース内にガソリンが混入していたら新しいエンジンオイルと交換する。
● エアクリーナエレメントが目詰まりしている。	エレメントを外して清掃する。または新しい物と交換する。
● 点火プラグの火花が弱い、飛ばない。	点火プラグを外して付着したカーボンを清掃する。または、新しい物と交換する。

■ エンジン回転が上がらない、不安定、出力が不足するとき

原 因	処 置
● エンジンが暖まってもチョークを引いた（閉じた）まま運転している。	チョークを戻す（開く）。
● フィルタポットに水やゴミが混入している。	ポットを外して清掃する。キャブレーター内のガソリンも排出する。
● エアクリーナエレメントが汚れている。	エレメントを外して清掃する。
● スロットルケーブルの引っ張りが不足している。	ケーブルのセット位置を調節する。

■ エンジンが振れる、異音が発生する

原 因	処 置
● エンジン取付けボルトがゆるんでいる。	取付けボルトを締付ける

■ ハンドルのガタが多い

原 因	処 置
● ハンドル回転部のガタが多い。	ハンドル締付ボルトを締め直す。

上記の処置をしてもトラブルが直らないときは、購入先にご相談ください。

修理・取扱い・手入れなどでご不明の点はまず、購入先へ ご相談ください。

おぼえのため、記入されると便利です

購入先名	担当	電話 ()	—
ご購入日	型式	車台番号	
エンジン型式	機番	その他装着型式	機番

万一ご購入先でご不明の点がございましたら、下記にお問合わせください。

株式会社 **クボタ**

機 械 札 幌 事 務 所：電(011)662-2121
機 械 東 日 本 事 務 所：電(048)862-1121
機 械 西 日 本 事 務 所：電(06)6470-5970
機 械 福 岡 事 務 所：電(092)606-3161

〒063-0061 札幌市西区西町北16丁目1番1号
〒338-0832 さいたま市桜区西堀5丁目2番36号
〒661-8567 尼崎市浜1丁目1番1号
〒811-0213 福岡市東区和白丘1丁目7番3号

クボタ機械サービス株式会社

本 社 営 業 技 術 部：電(072)241-8092
北海道営業技術推進部：電(011)662-2121
秋田営業技術推進部：電(018)845-1644
仙台営業技術推進部：電(022)384-5162
東京営業技術推進部：電(048)862-1588
新潟営業技術推進部：電(025)285-1263
金沢営業技術推進部：電(076)275-1121
名古屋営業技術推進部：電(0586)24-5111
大阪営業技術推進部：電(06)6470-5860
米子営業技術推進部：電(0859)33-5011
岡山営業技術推進部：電(086)279-4511
株式会社四国クボタ 営業技術課：電(087)874-8500
福岡営業技術推進部：電(092)606-3725
熊本営業技術推進部：電(096)357-6181

〒590-0823 堺市石津北町64番地
〒063-0061 札幌市西区西町北16丁目1番1号
〒011-0901 秋田市寺内字大小路207-54
〒981-1221 名取市田高字原182番地の1
〒338-0832 さいたま市桜区西堀5丁目2番36号
〒950-0992 新潟市上所上1丁目14番15号
〒924-0038 松任市下柏野町956-1
〒491-0031 一宮市観音町1番地の1
〒661-8567 尼崎市浜1丁目1番1号
〒683-0804 米子市米原7丁目1番1号
〒703-8216 岡山市宍甘275番地
〒769-0102 香川県綾歌郡国分寺町国分字向647-3
〒811-0213 福岡市東区和白丘1丁目7番3号
〒861-4147 熊本県下益城郡富合町大字廻江846-1

株式会社 **クボタアグリ東日本**

東 北 系 統 推 進 部：電(018)845-1601
関 東 ・ 甲 信 越 系 統 推 進 部：電(048)862-1124

〒011-0901 秋田市寺内字大小路207-54
〒338-0832 さいたま市桜区西堀5丁目2番36号

株式会社 **クボタアグリ西日本**

中 部 ・ 近 畿 系 統 推 進 部：電(06)6470-5850
株式会社四国クボタ 系統推進部：電(087)874-8500

〒661-8567 尼崎市浜1丁目1番1号
〒769-0102 香川県綾歌郡国分寺町国分字向647-3

株式会社 **クボタアグリ九州**

九 州 系 統 事 業 推 進 部：電(092)606-3166

〒811-0213 福岡市東区和白丘1丁目7番3号



安全はクボタの願い

このマークは「お客様」「ディーラ」「クボタ」の三者
が一体となって安全宣言を行うための統一マークです。



陸内協排出ガス自主規制適合

このラベルは、(社)日本陸用内燃機関協会
の小形汎用ガソリンエンジン排出ガス自主
規制に適合していることを示しています。

株式会社クボタ

〒556-8601
大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号
TEL.06-6648-2111
FAX.06-6648-3862